

第5回県政インターネットモニターアンケート集計結果

仕事と子育ての両立を意識した住宅に関するアンケート
花の消費等に関する意識調査
救急医療に関するアンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、
合計が100%にならない場合がある。

○ 仕事と子育ての両立を意識した住宅に関するアンケート

人口減少対策として子育てしやすい住環境の整備が求められています。このような状況の中で、住宅に関してどのような需要があるかを調査し、今後の住宅施策の取組の参考とさせていただきたく、ご協力をお願いします

○ 花の消費等に関する意識調査

静岡県では、暮らしの様々な場面で花と緑があふれる県を目指しています。
今後の取組の参考にするため、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

○ 救急医療に関するアンケート

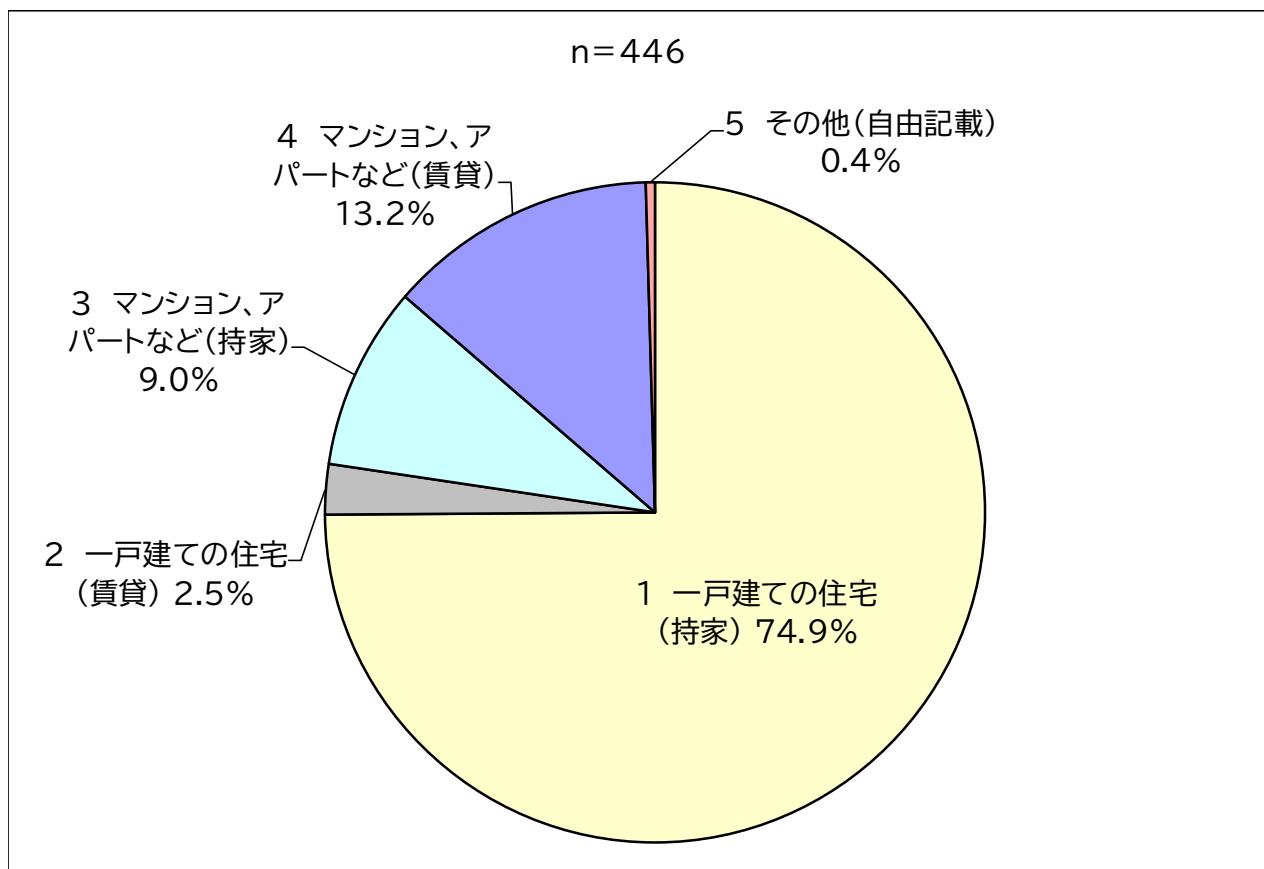
現在、高齢化の進行等により救急搬送件数が増加傾向にあり、救急隊や救急医療機関の負担が増大しています。県民の皆様が24時間安心して必要な救急医療を受けることができる体制を守るため、県民の皆様にも、このような医療の現状をご理解いただき、適切な受診を心がけていただくことが必要となっています。

そこで、県民の皆様から率直なご意見をお伺いし、今後の施策の参考とさせていただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

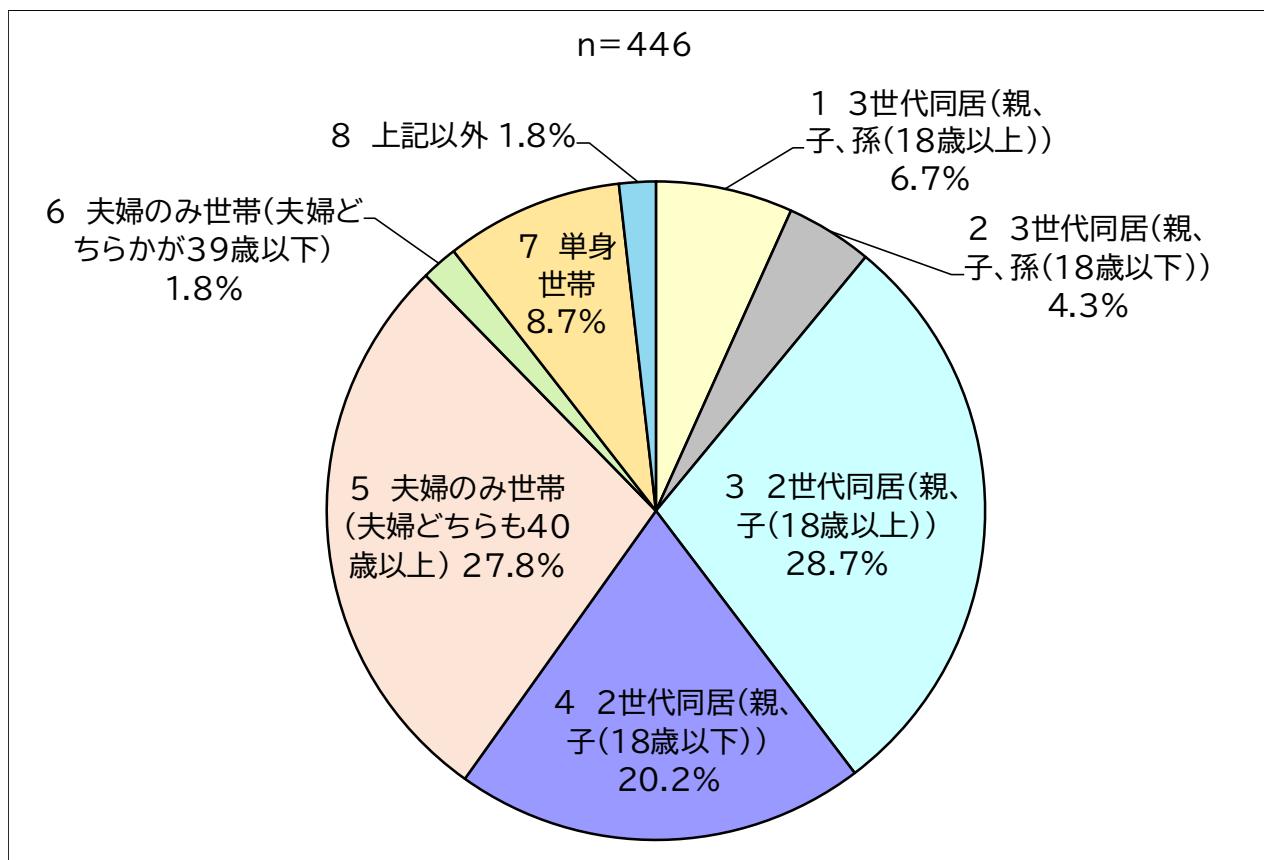
回答者数：446人（回答率：86.7%）			
	カテゴリ一名	回答者数	%
性別	男性	181	40.6%
	女性	262	58.7%
	その他	3	0.7%
年代	10代	9	2.0%
	20代	34	7.6%
	30代	36	8.1%
	40代	80	17.9%
	50代	118	26.5%
	60代	93	20.9%
	70代	58	13.0%
	80代	18	4.0%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	3	0.7%
	東部	132	29.6%
	中部	168	37.7%
	西部	142	31.8%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	35	7.8%
	会社員	144	32.3%
	公務員	14	3.1%
	パート・内職従事者	87	19.5%
	学生	29	6.5%
	無職	118	26.5%
	その他	19	4.3%

○仕事と子育ての両立を意識した住宅に関するアンケート

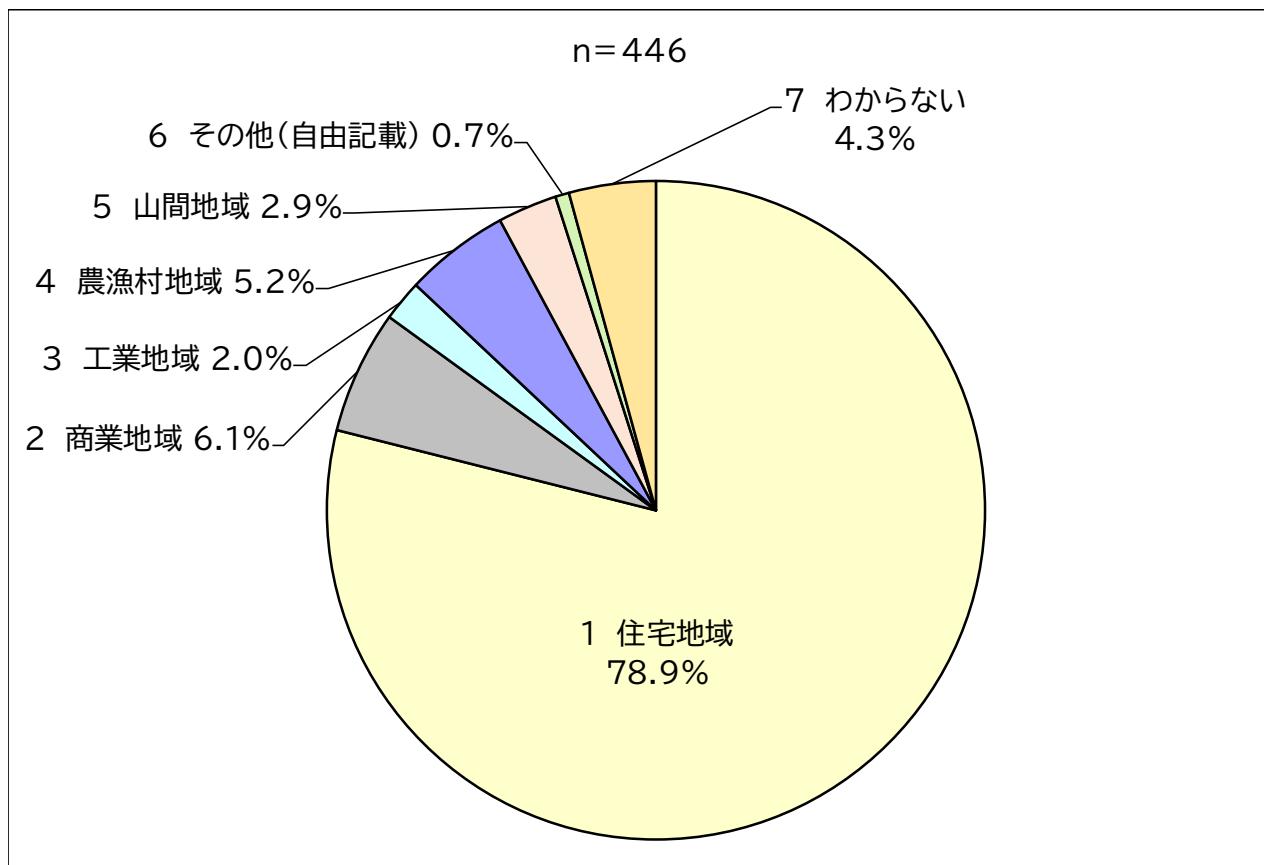
問1 あなたが現在お住まいの住宅は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



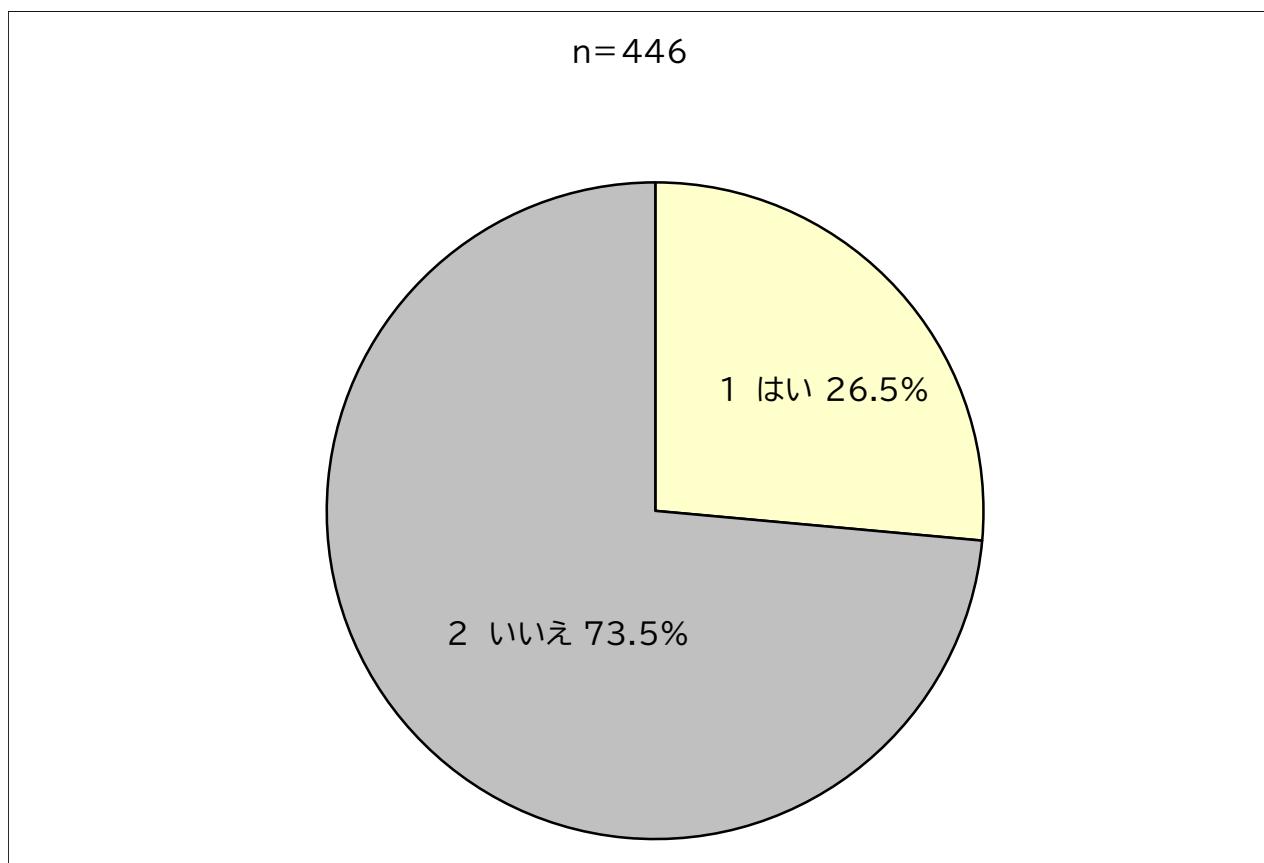
問2 あなたのお住まいの住居の世帯構成は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



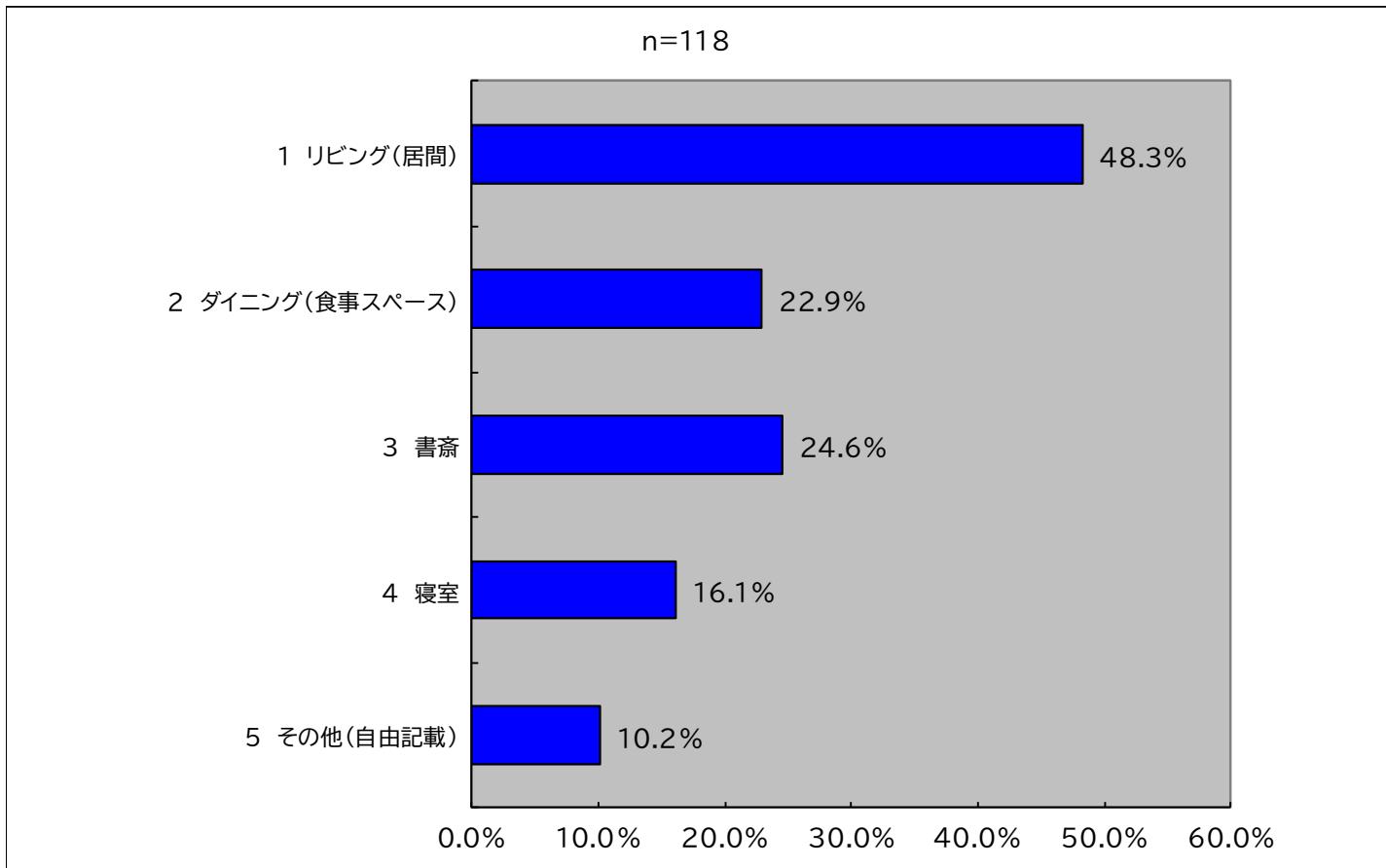
問3 あなたが現在お住まいの地域は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



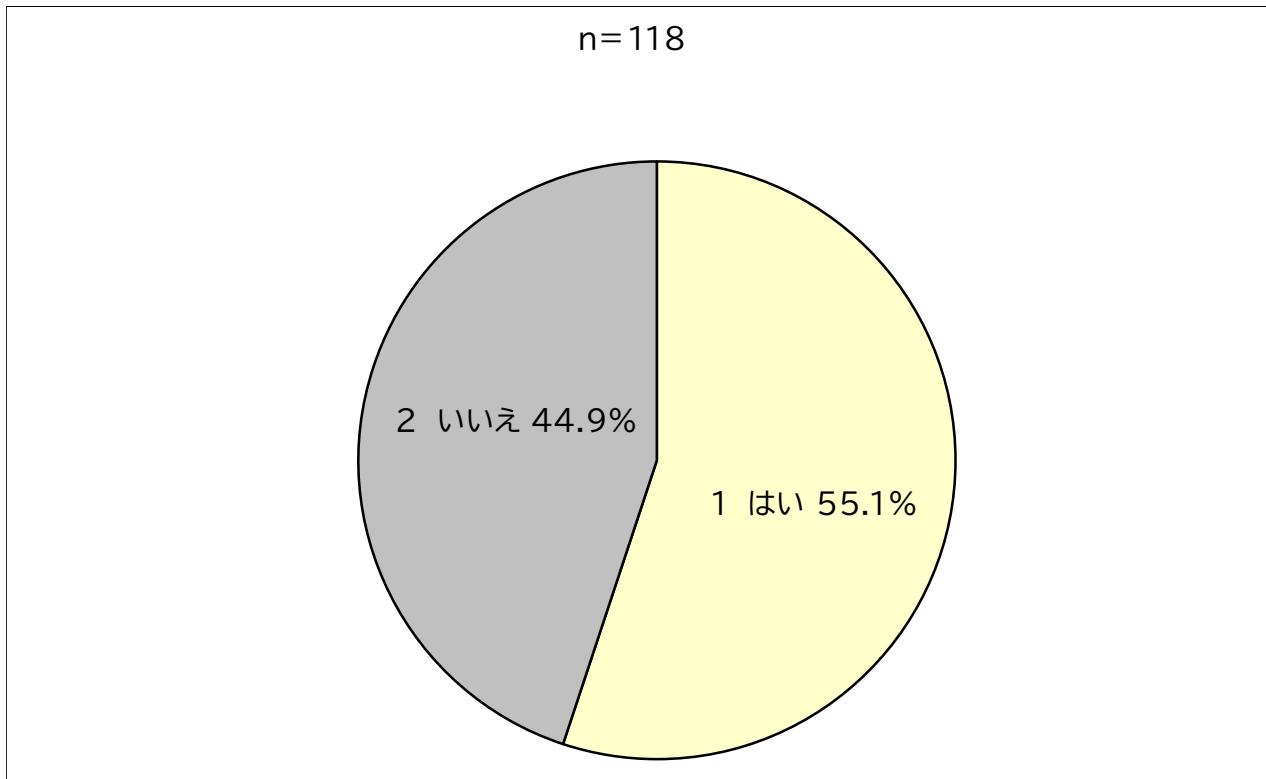
問4 あなたは在宅勤務をしたことがありますか。(回答数は1つ)



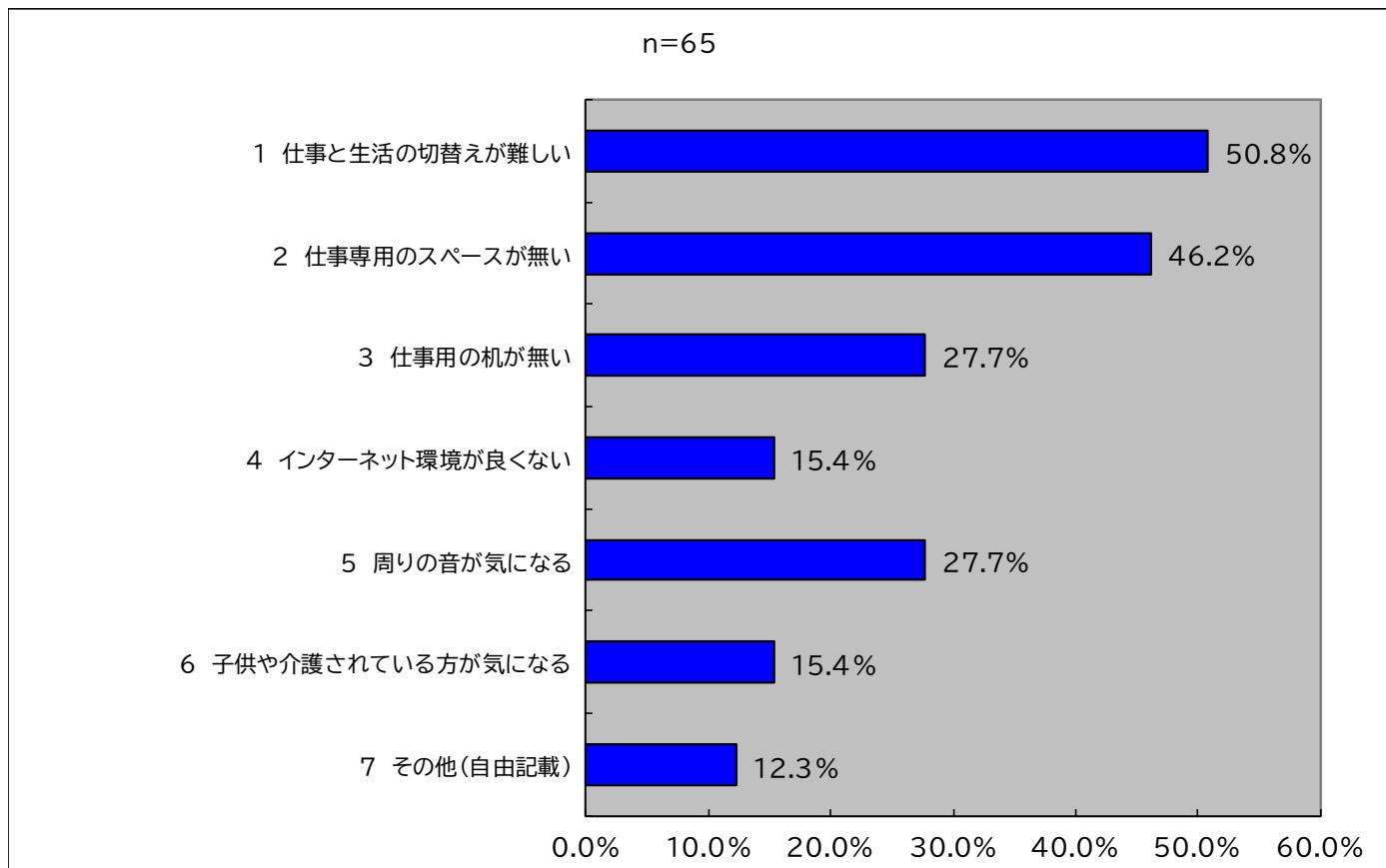
問4－2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。自宅のどのスペースで在宅勤務を行いましたか。
(複数回答可)



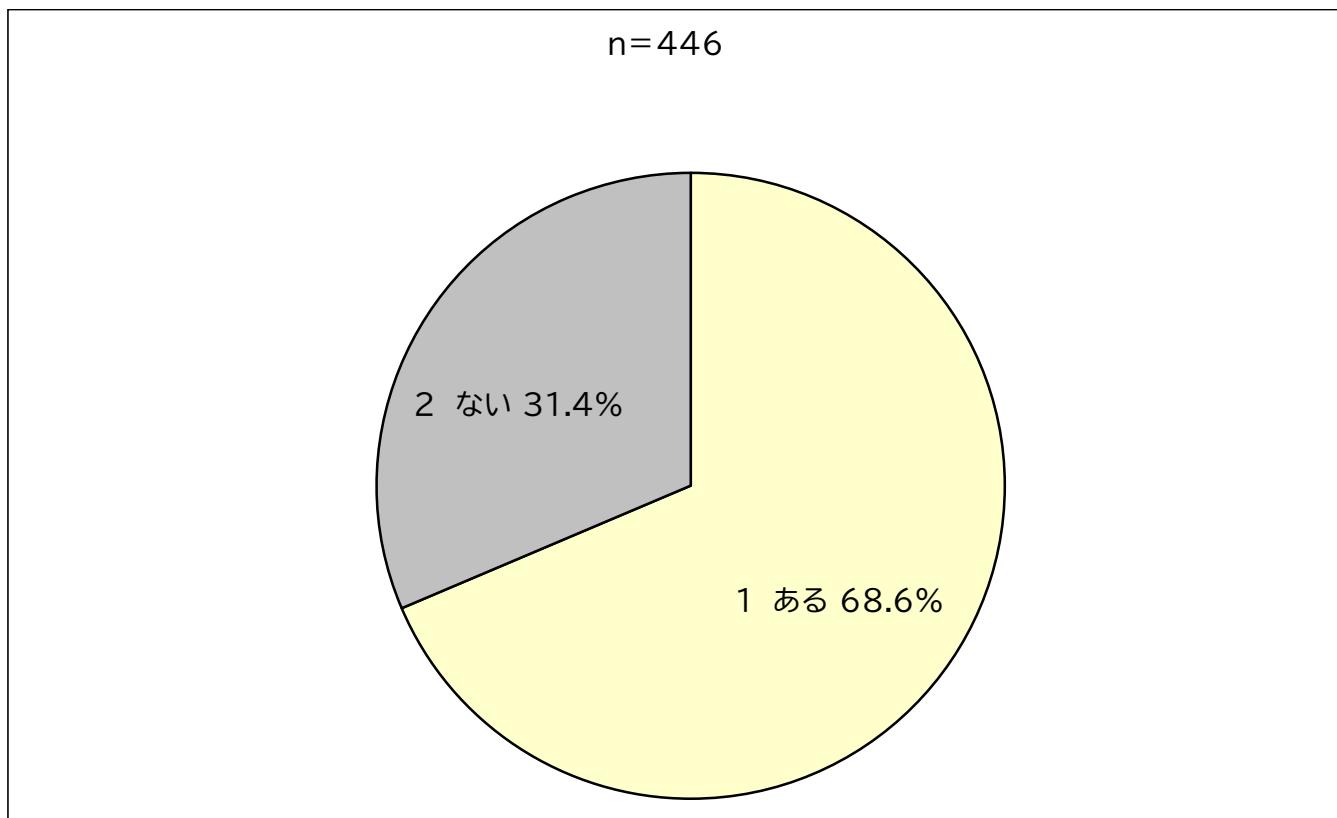
問4－3 問4で選択肢1を選択された方に伺います。在宅勤務で不便に感じたことはありますか？(回答
数は1つ)



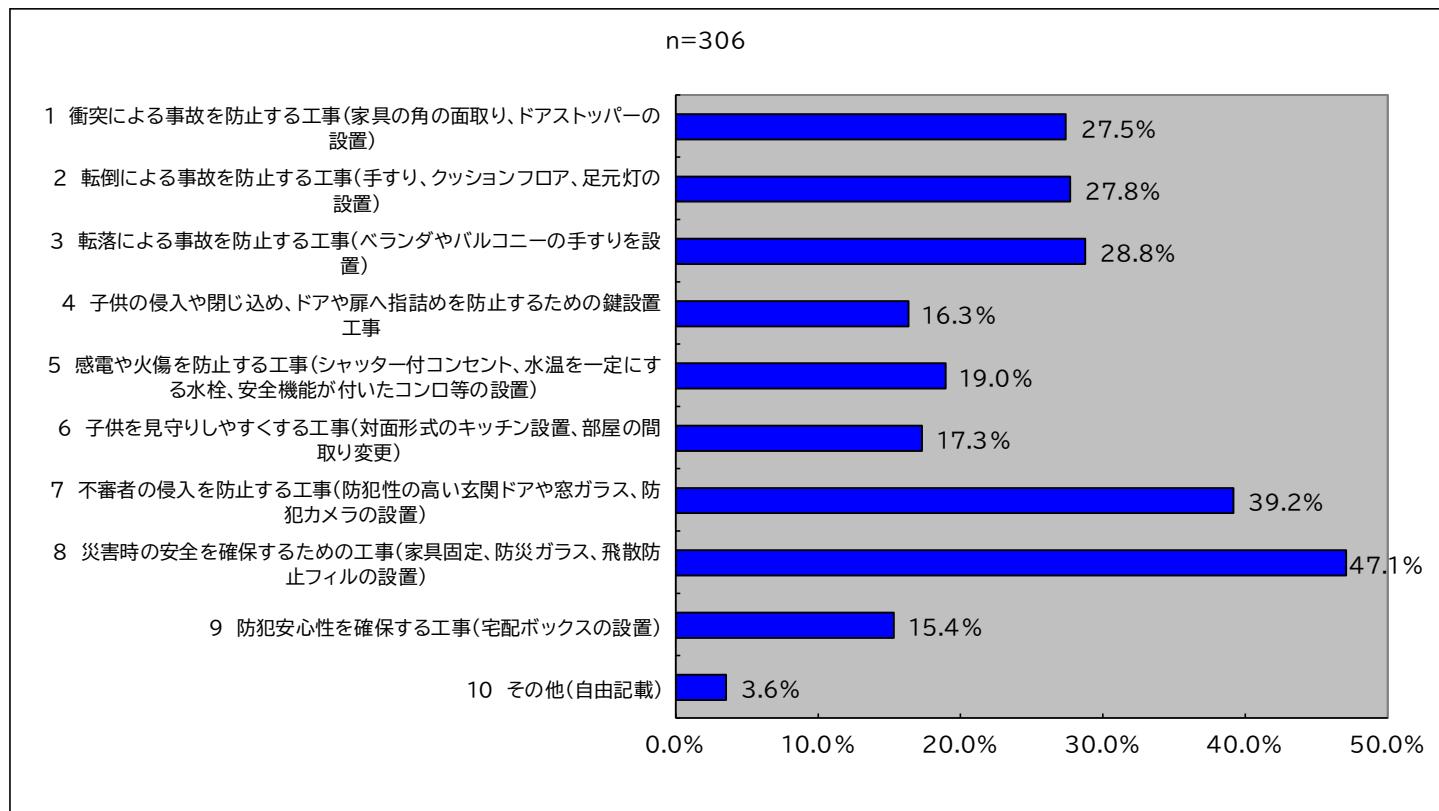
問4-3-2 問4-3で選択肢1を選択された方に伺います。在宅勤務で不便に感じたことはどのようなことですか。(複数回答可)



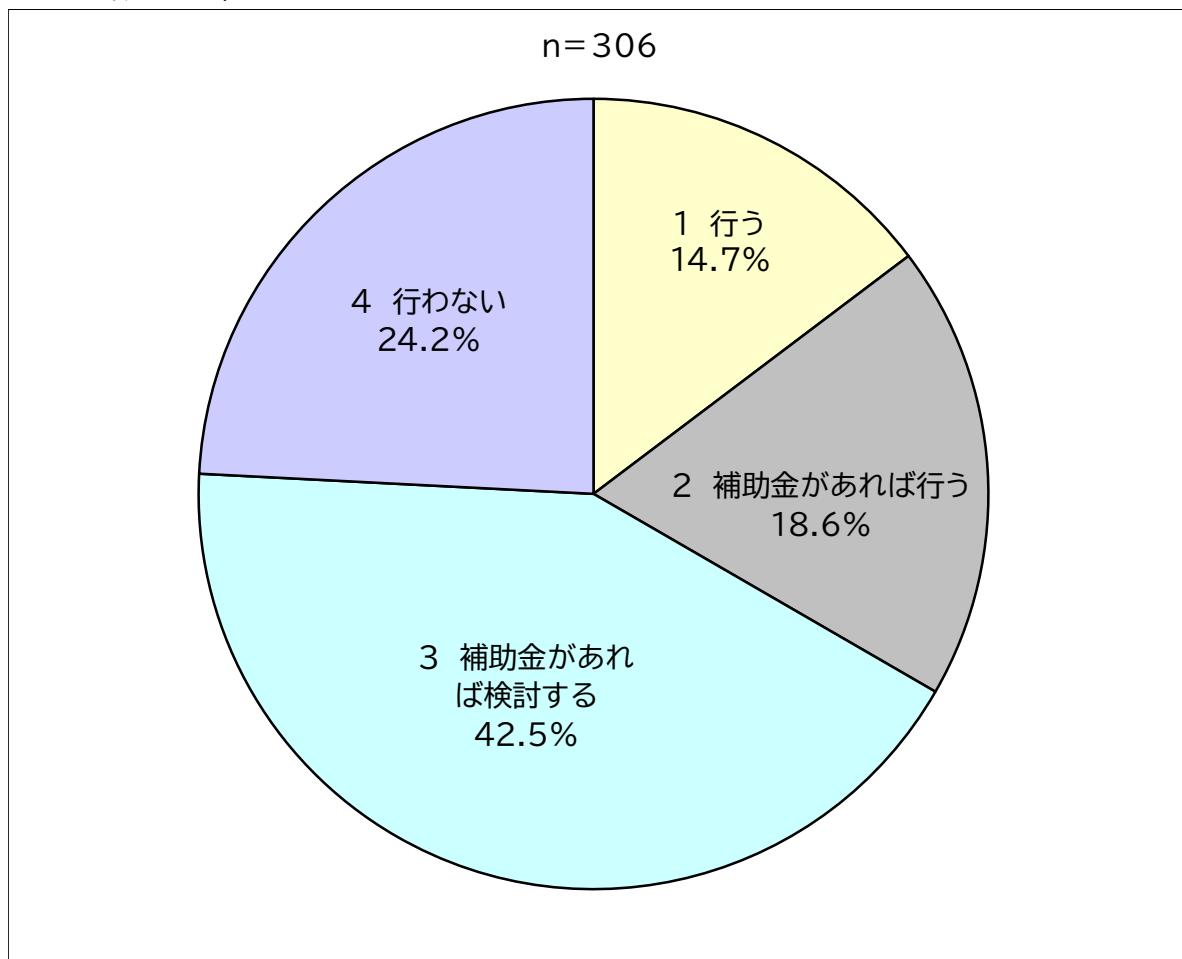
問5 あなたは子育てをしたことがありますか。(回答数は1つ)



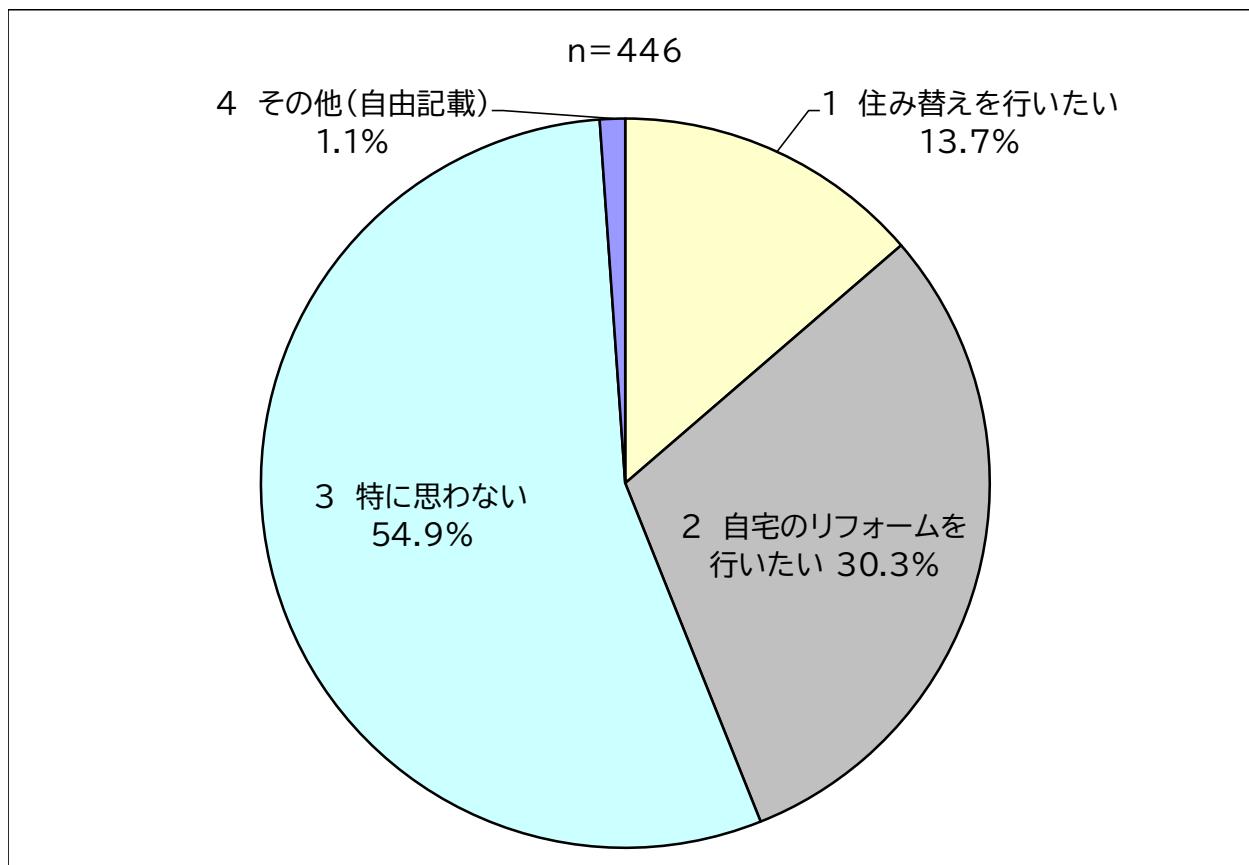
問5-2 問5で選択肢1を選択された方に伺います。子育てをする上で、実施したい工事は次のうちどれですか。(回答数は3つまで)



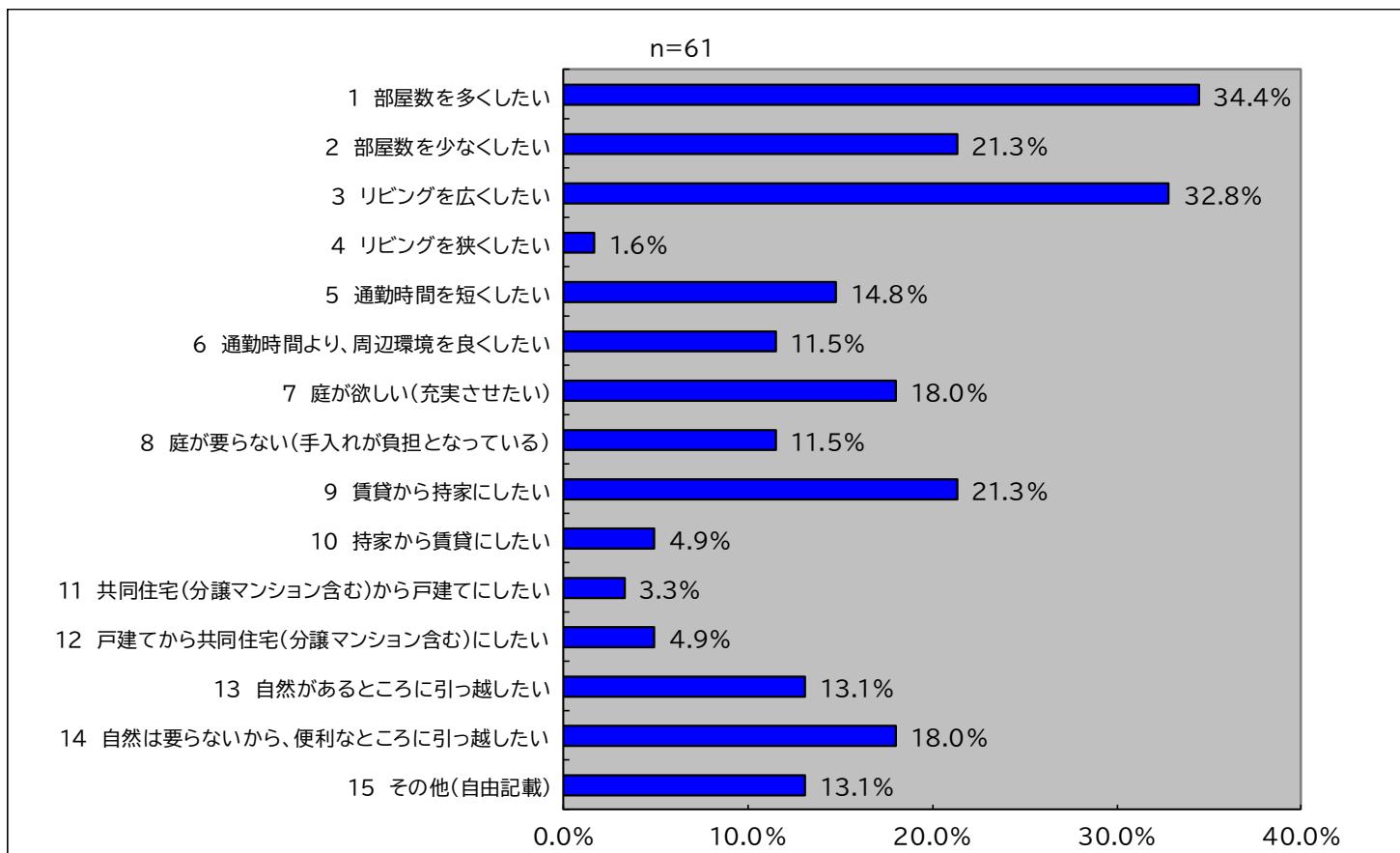
問5-3 問5で選択肢1を選択された方に伺います。問5-2で選択した工事は実際に行いますか。(回答数は1つ)



問6 あなたは現在、住み替えや自宅のリフォームを行いたいと思いますか。(回答数は1つ)

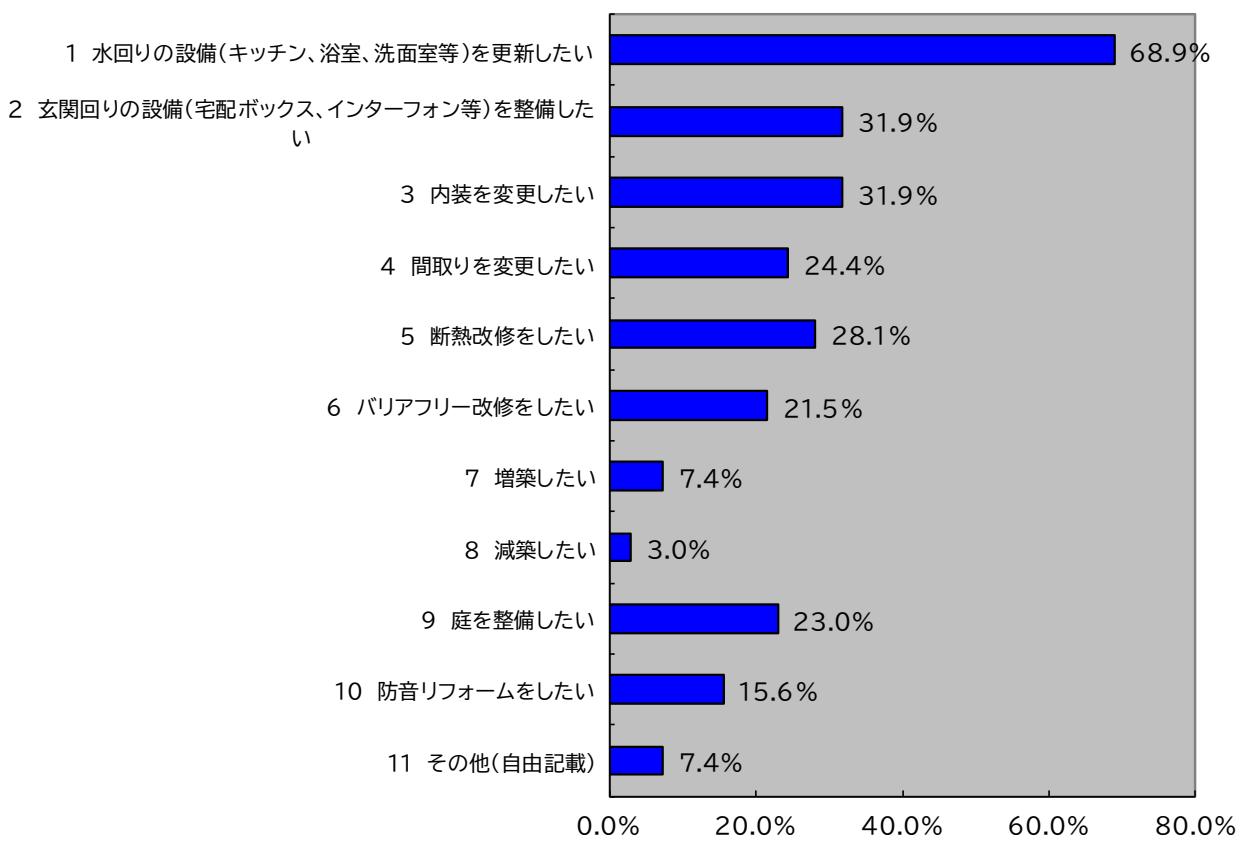


問6-2 問6で選択肢1を選択された方に伺います。どのような住み替えを行いたいと思いましたか。(複数回答可)



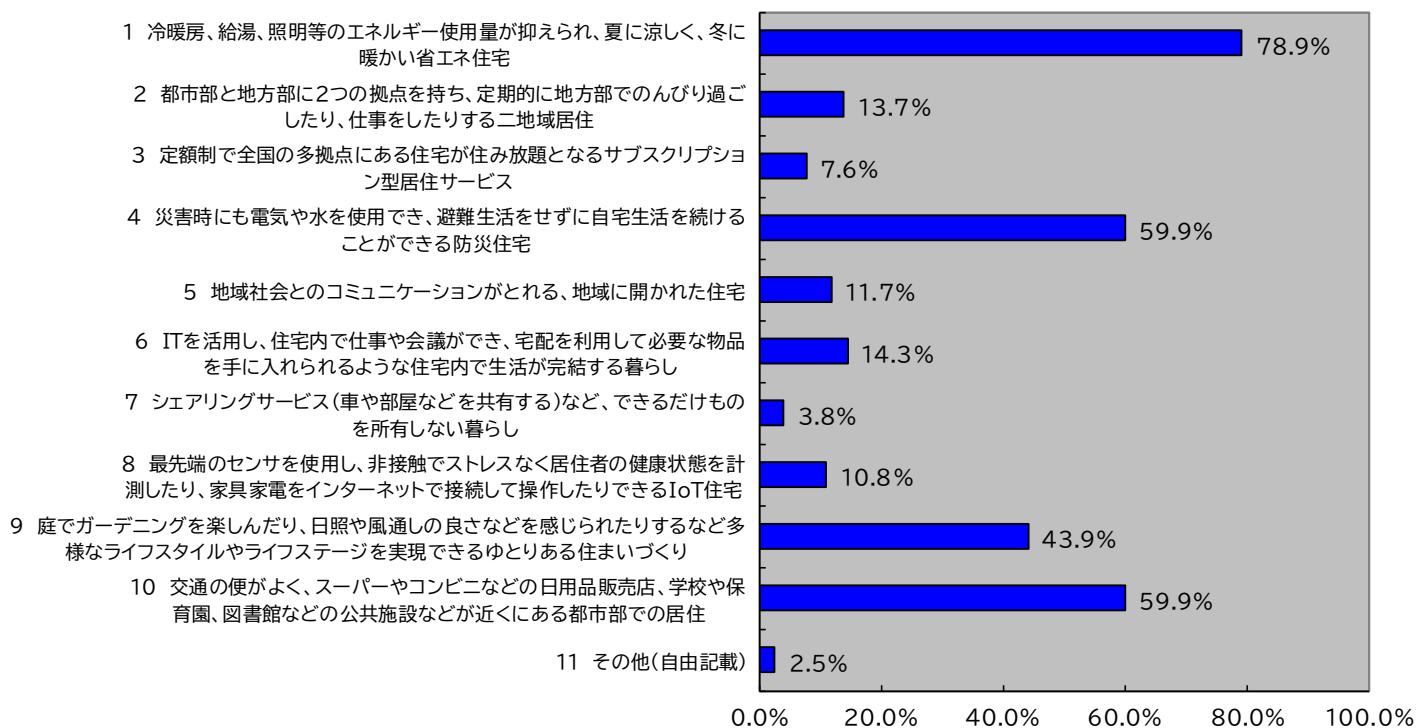
問6-3 問6で選択肢2を選択された方に伺います。自宅のリフォームを行いたい場所はどこですか。(複数回答可)

n=135



問7 あなたにとって、理想とする住宅や暮らし方はどのようなものですか。(複数回答可)

n=446



問8 今後の住宅政策について県や市町に要望することがあれば記載してください。(500文字以内)

担当課名 くらし・環境部建築住宅局住まいづくり課

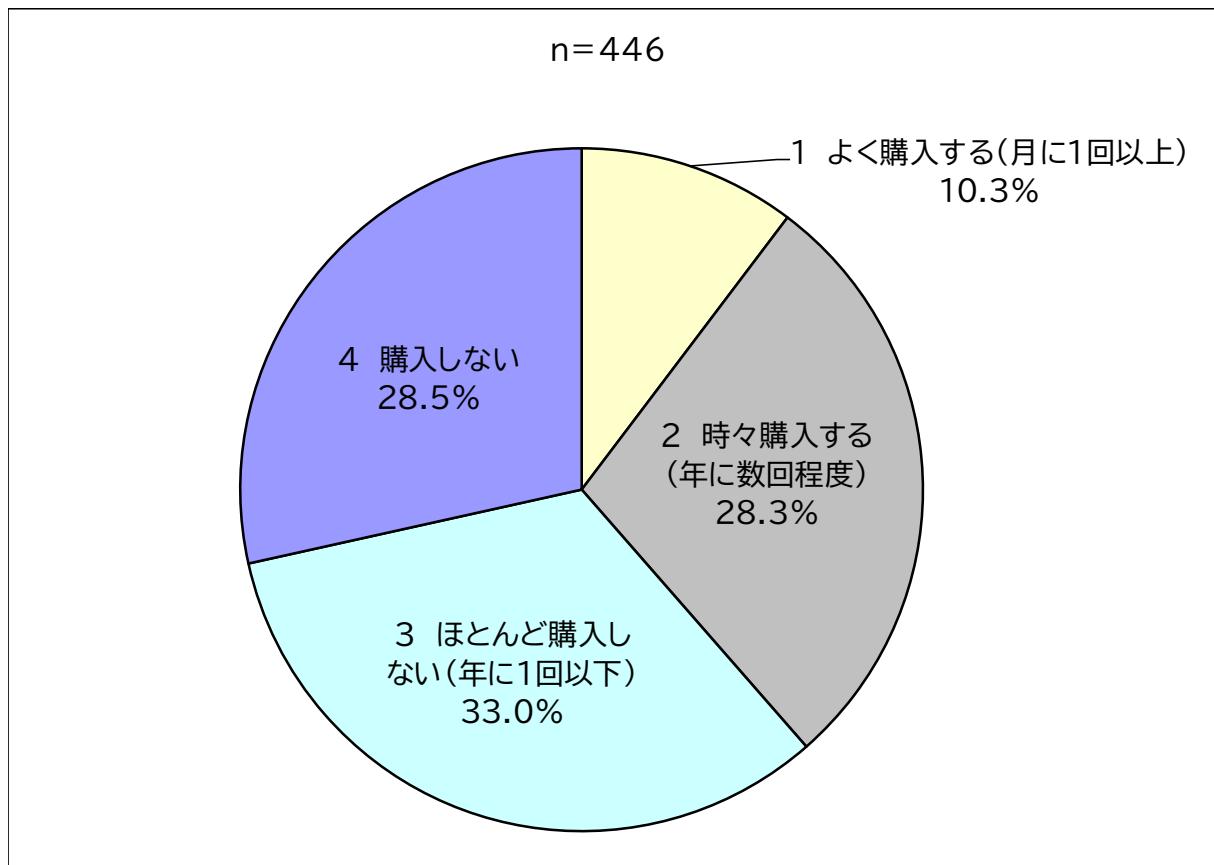
電話番号 054-221-3081

FAX 番号 054-221-3083

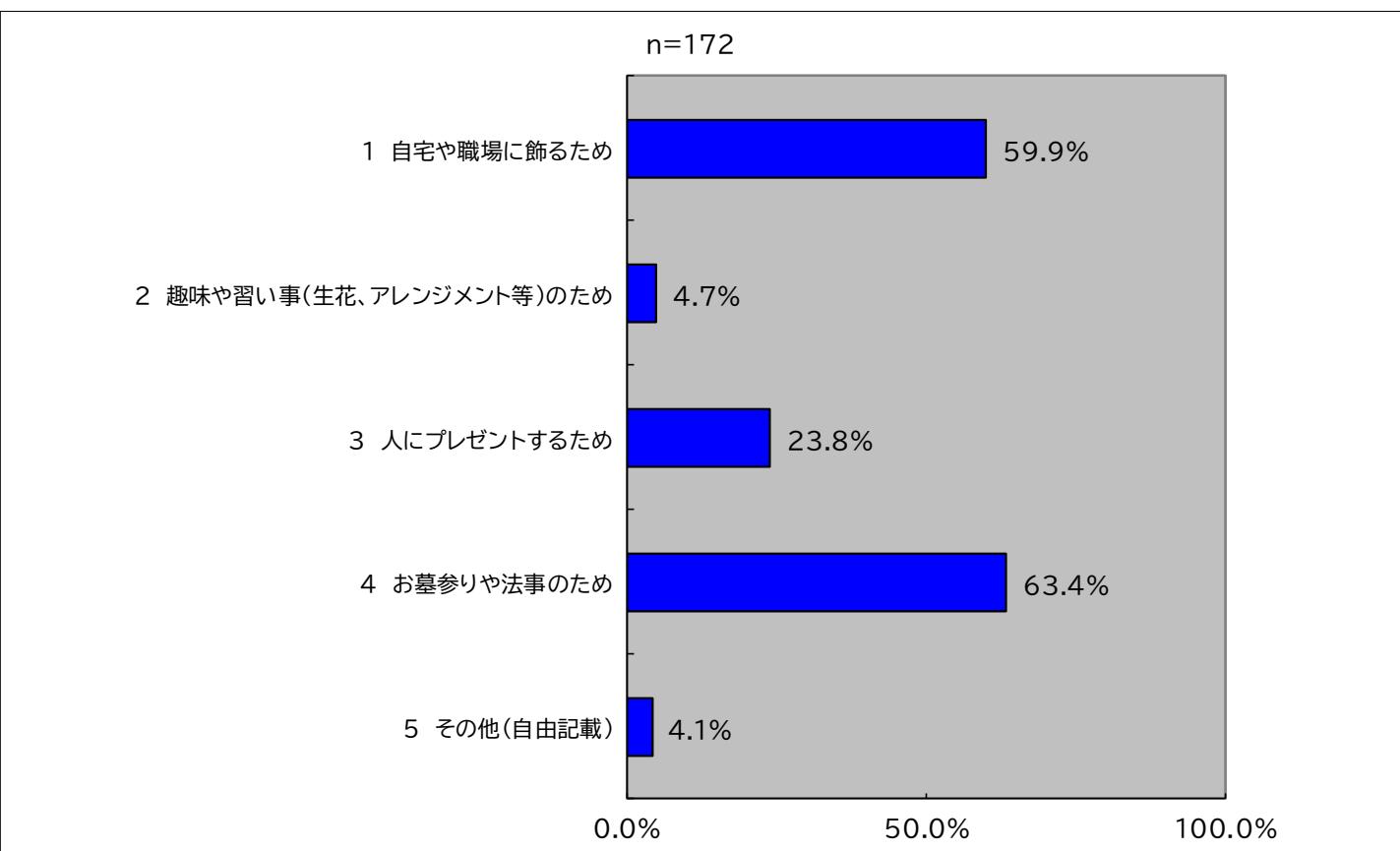
メールアドレス sumai@pref.shizuoka.lg.jp

○花の消費等に関する意識調査

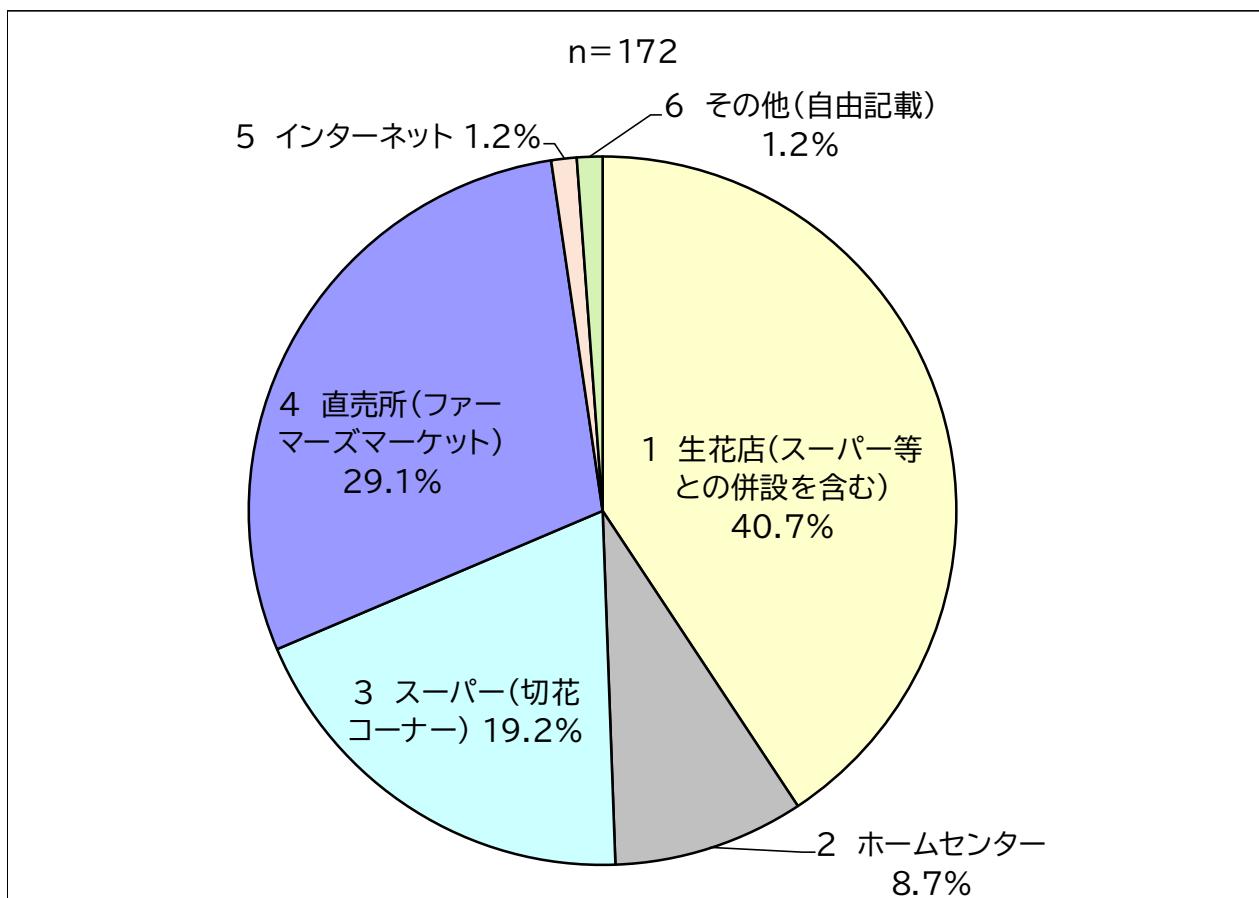
問1 あなたが切花を購入する頻度を教えてください。(回答数は1つ)



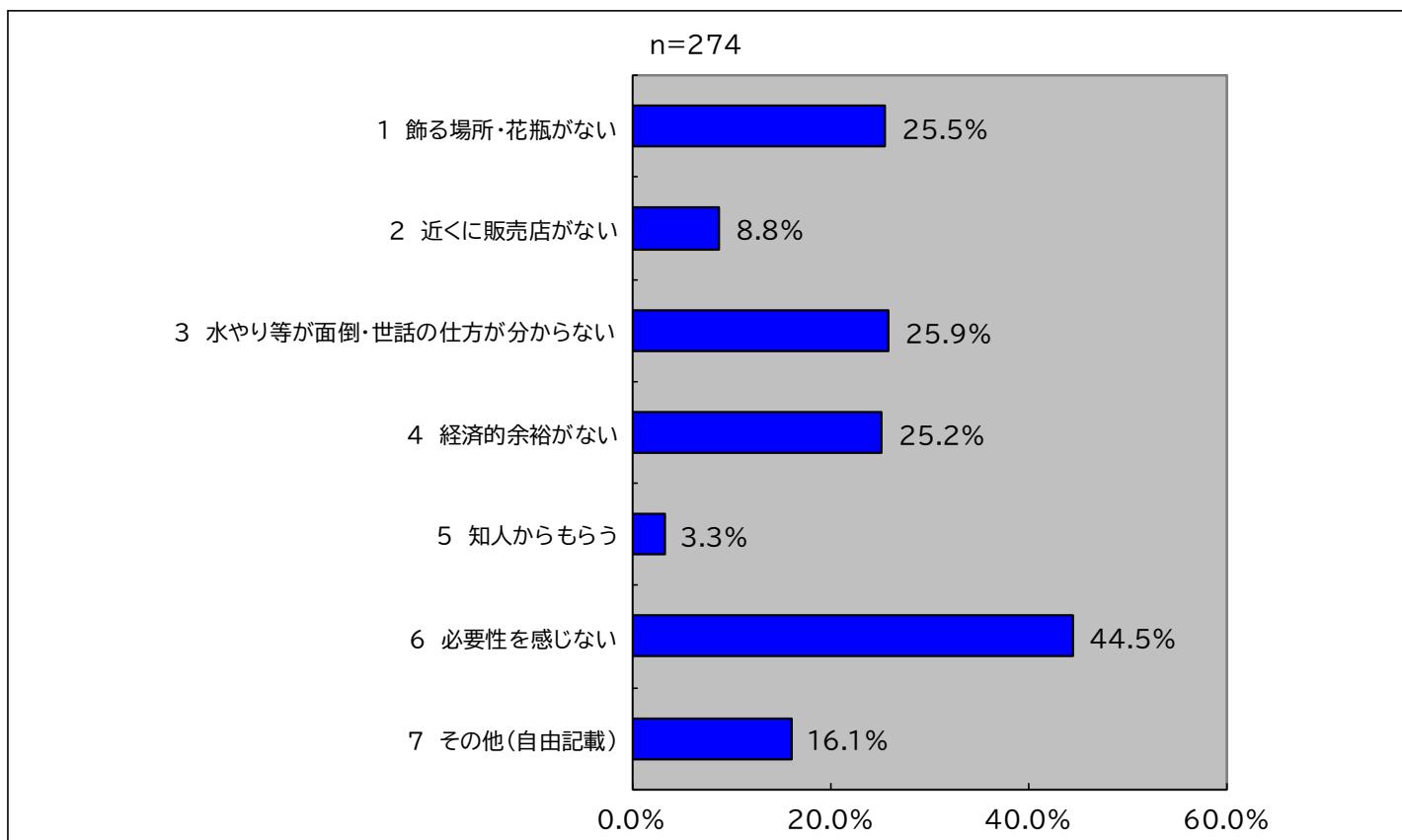
問1-2 問1で選択肢1または2を選択された方に伺います。切花を購入する目的を教えてください。(複数回答可)



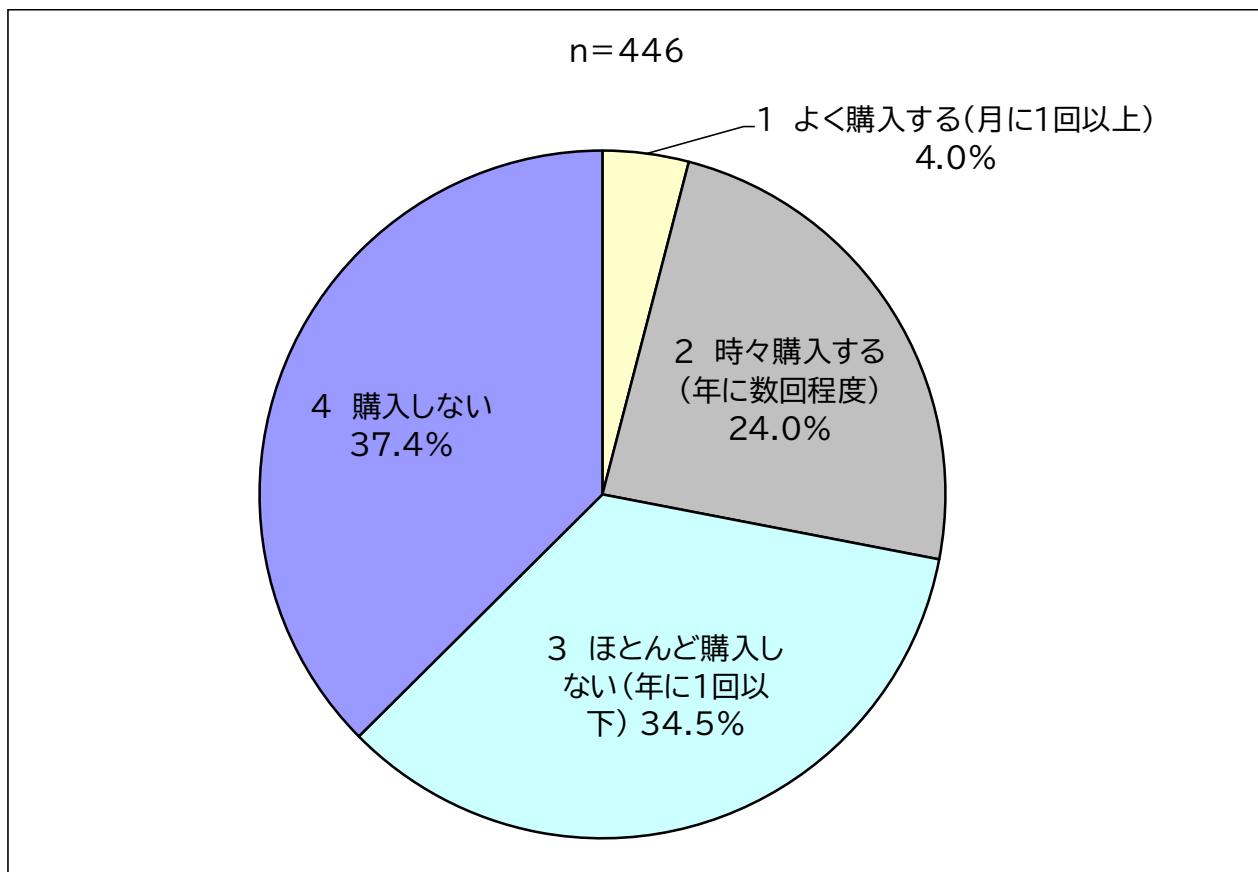
問1-3 問1で選択肢1または2を選択された方に伺います。一番よく利用する切花の購入先はどこですか。(回答数は1つ)



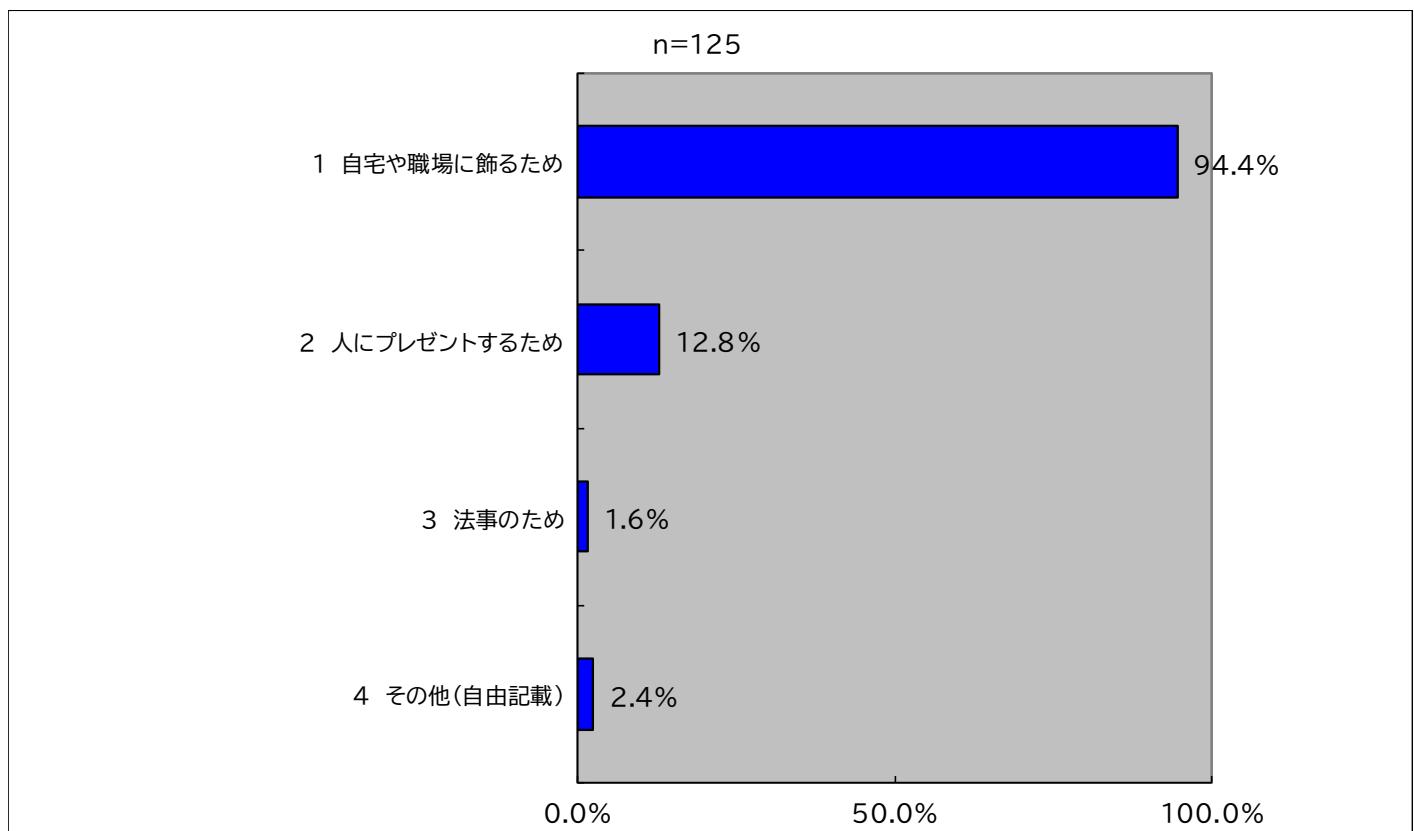
問1-4 問1で選択肢3または4を選択された方に伺います。あなたが切花をほとんど購入しない、または購入しない理由は何ですか。(複数回答可)



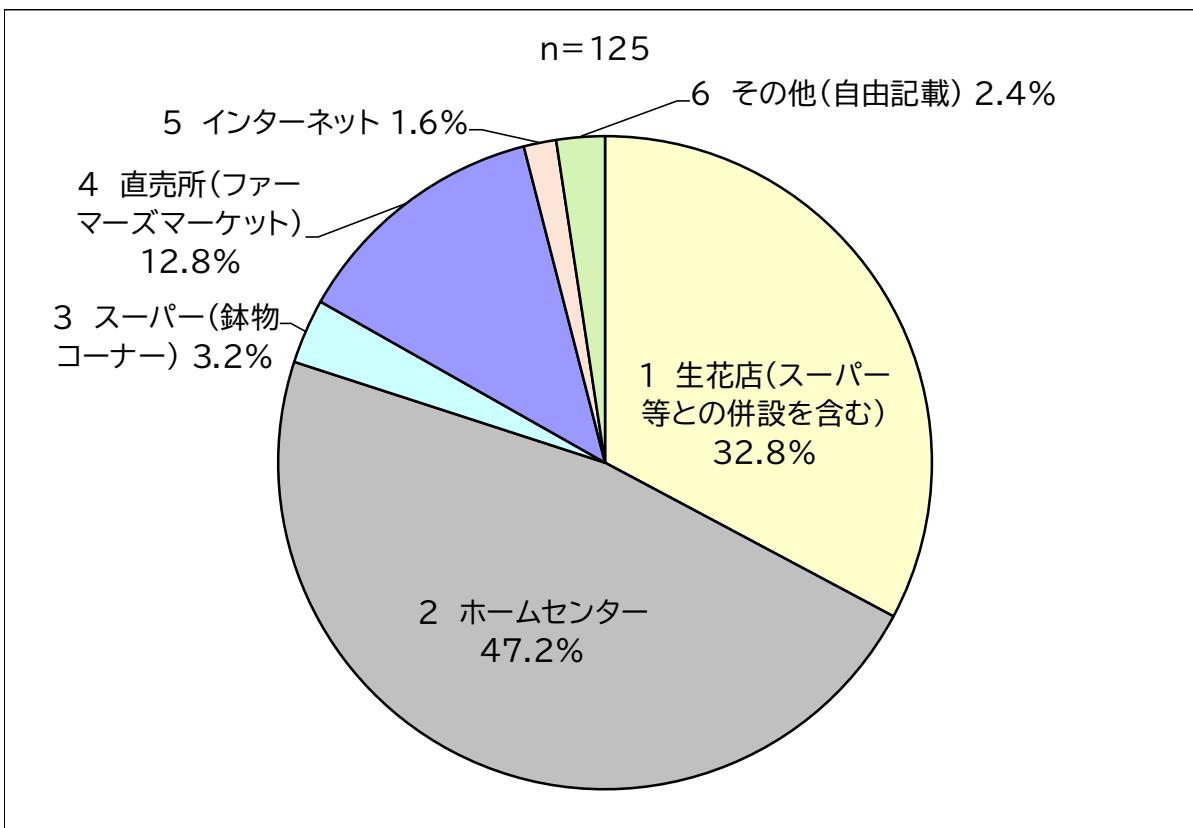
問2 あなたが鉢物(鉢花、観葉植物、洋ラン等)を購入する頻度を教えてください。(回答数は1つ)



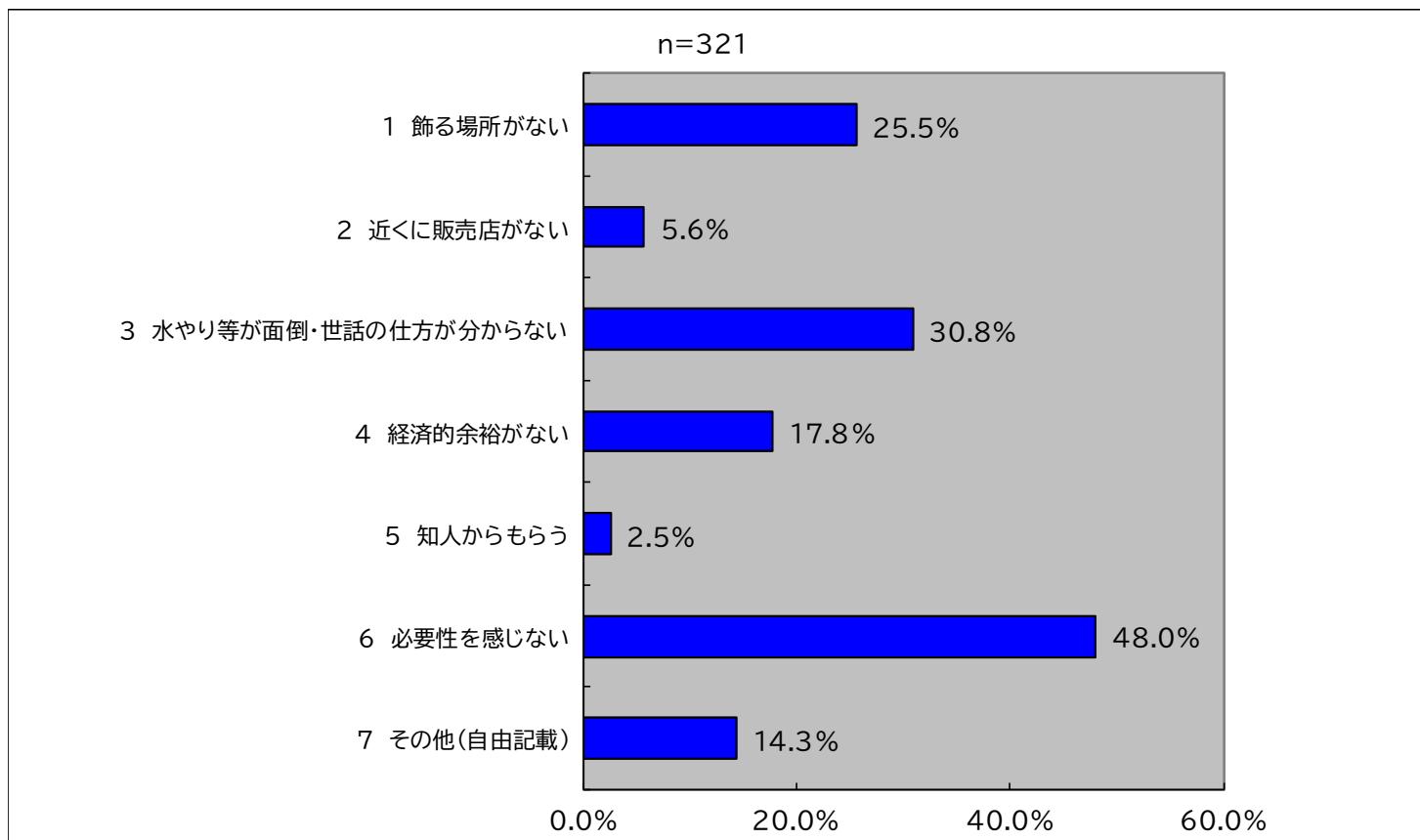
問2-2 問2で選択肢1または2を選択された方に伺います。鉢物を購入する目的を教えてください。(複数回答可)



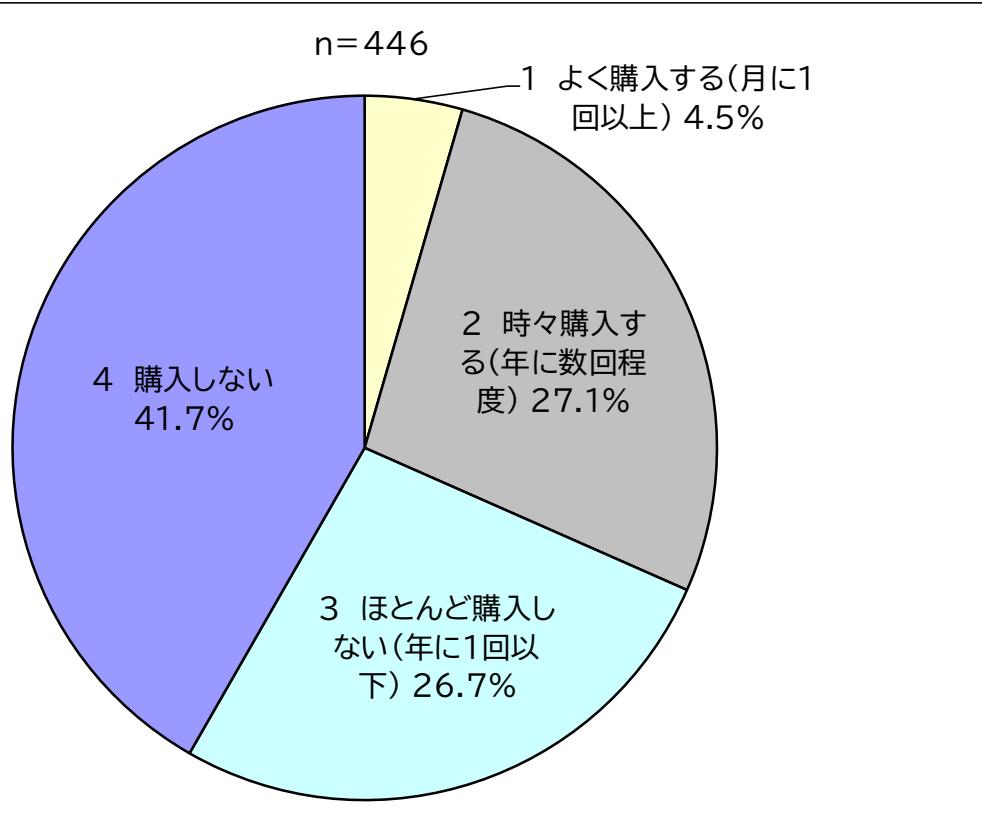
問2-3 問2で選択肢1または2を選択された方に伺います。一番よく利用する鉢物の購入先はどこですか。(回答数は1つ)



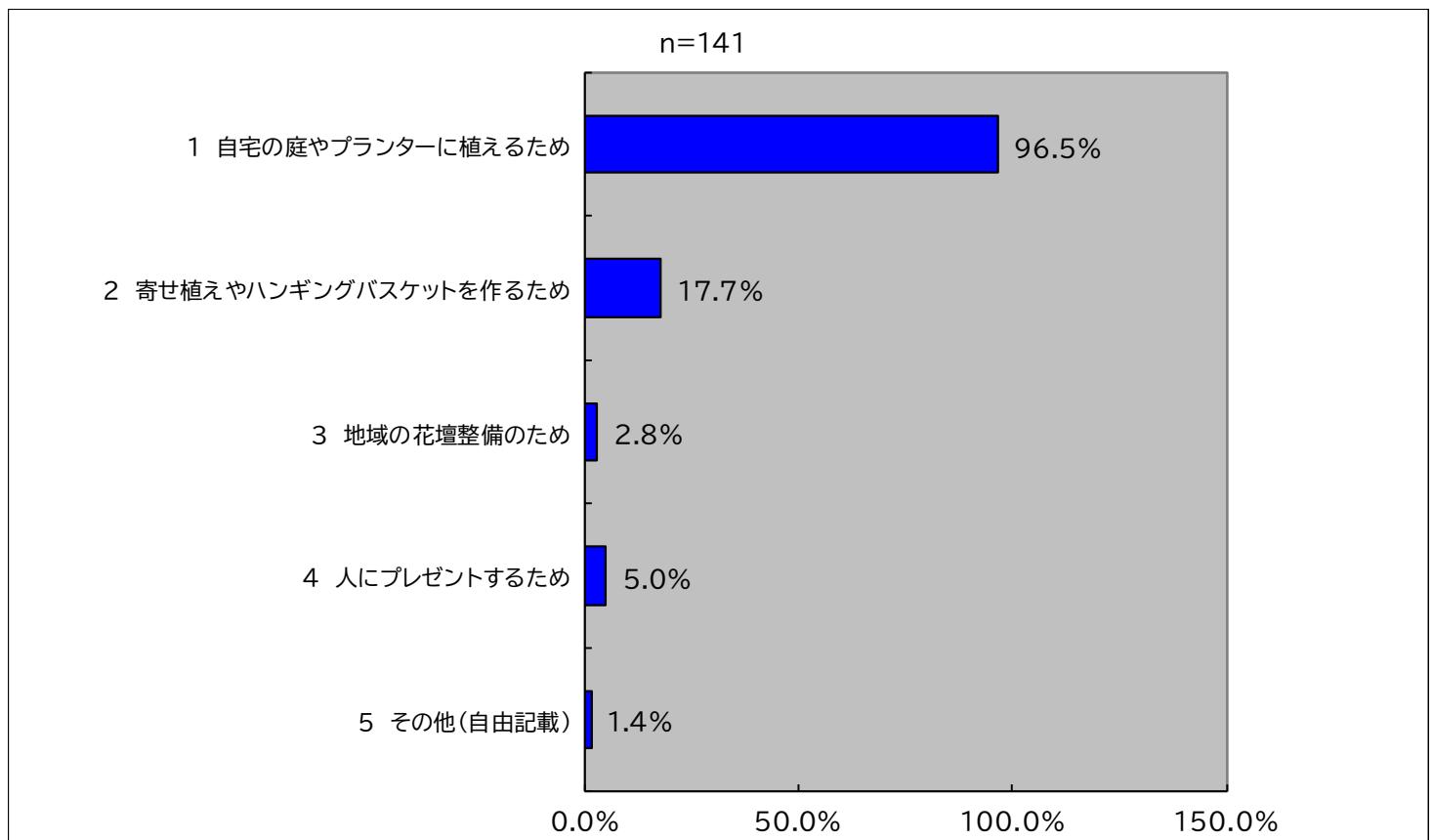
問2-4 問2で選択肢3または4を選択された方に伺います。あなたが鉢物をほとんど購入しない、または購入しない理由は何ですか。(複数回答可)



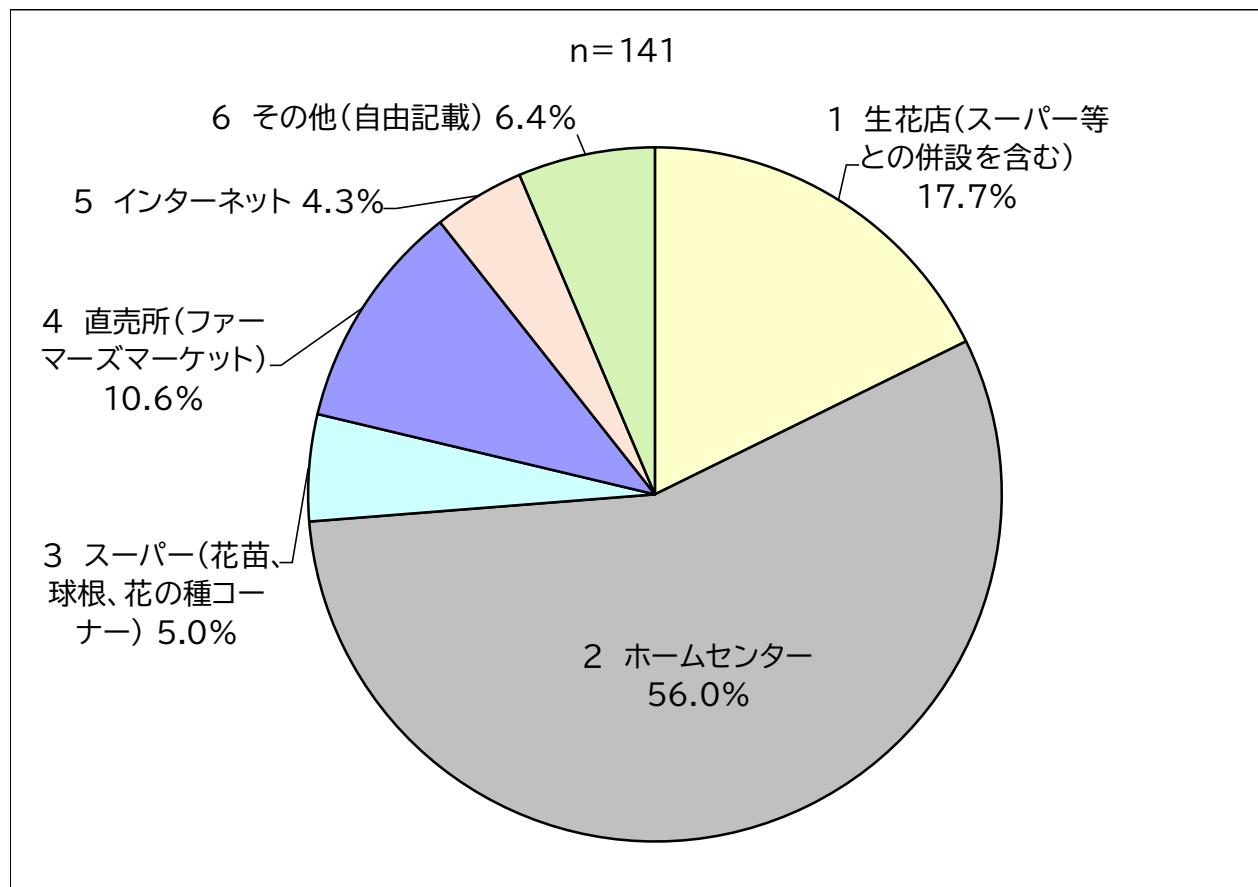
問3 あなたが花苗、球根、花の種を購入する頻度を教えてください。(回答数は1つ)



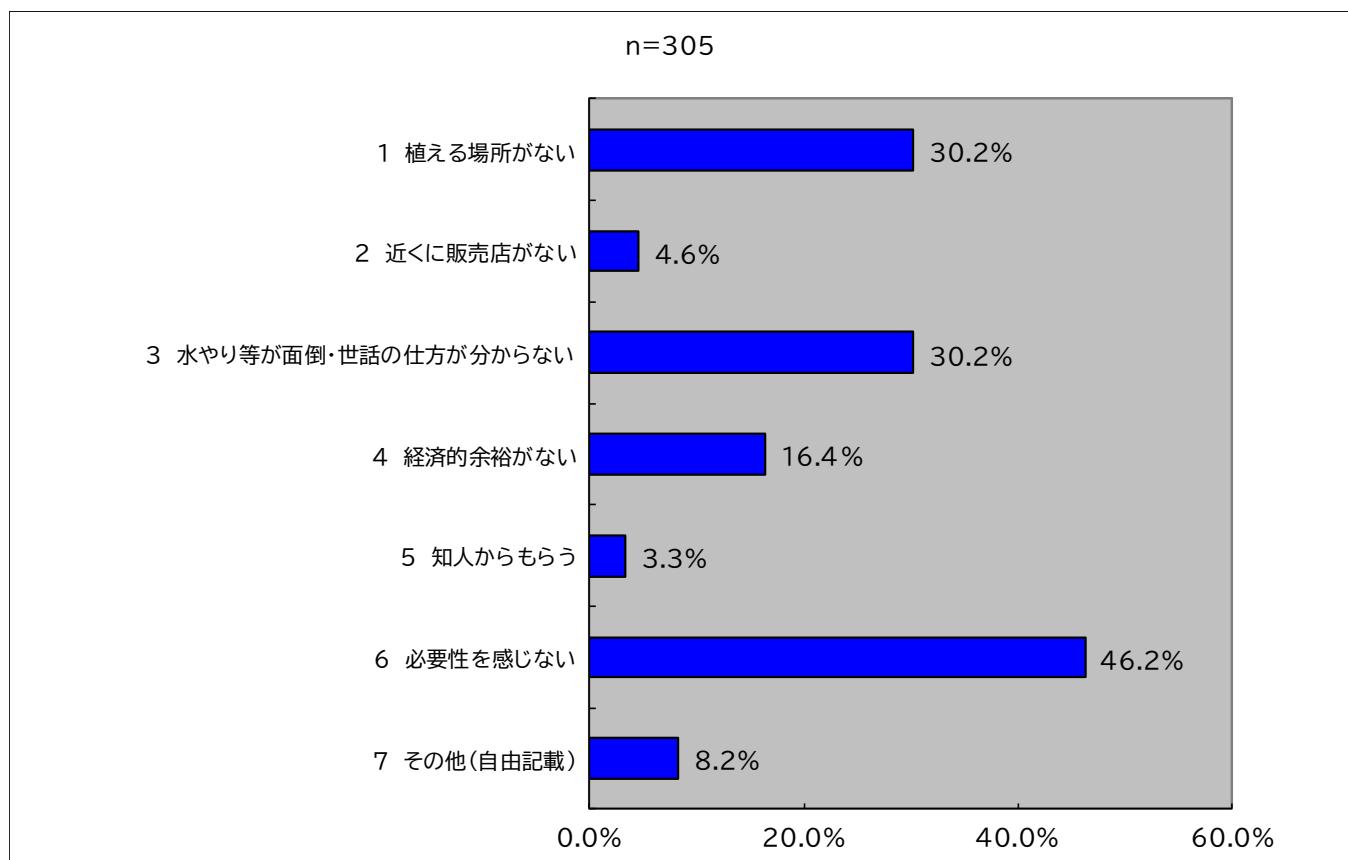
問3-2 問3で選択肢1または2を選択された方に伺います。花苗、球根、花の種を購入する目的を教えてください。(複数回答可)



問3-3 問3で選択肢1または2を選択された方に伺います。一番よく利用する花苗、球根、花の種の購入先はどこですか。(回答数は1つ)

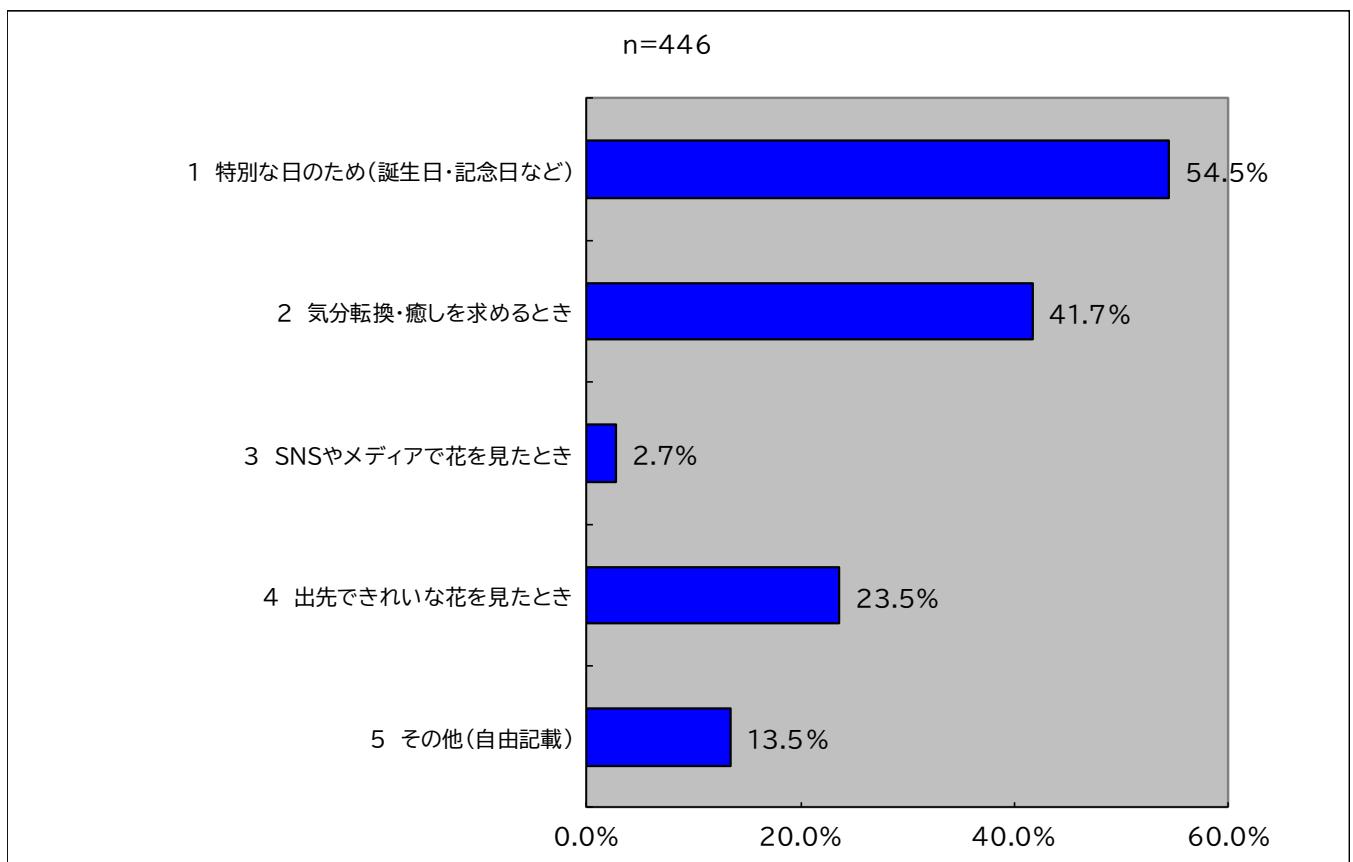


問3-4 問3で選択肢3または4を選択された方に伺います。あなたが花苗、球根、花の種をほとんど購入しない、または購入しない理由は何ですか。(複数回答可)

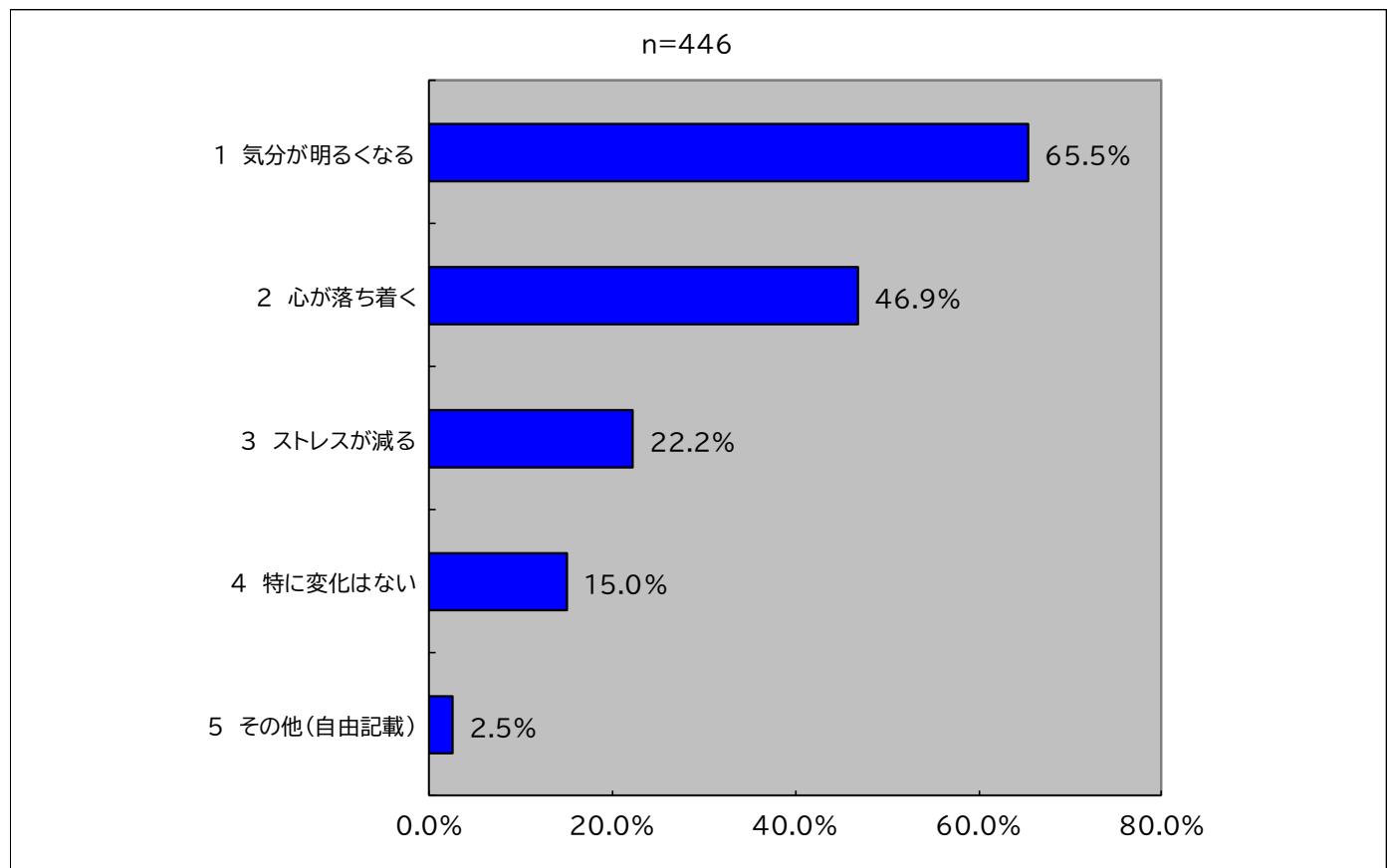


問4 あなたが花※を買いたくなるのはどんなときですか。(複数回答可)

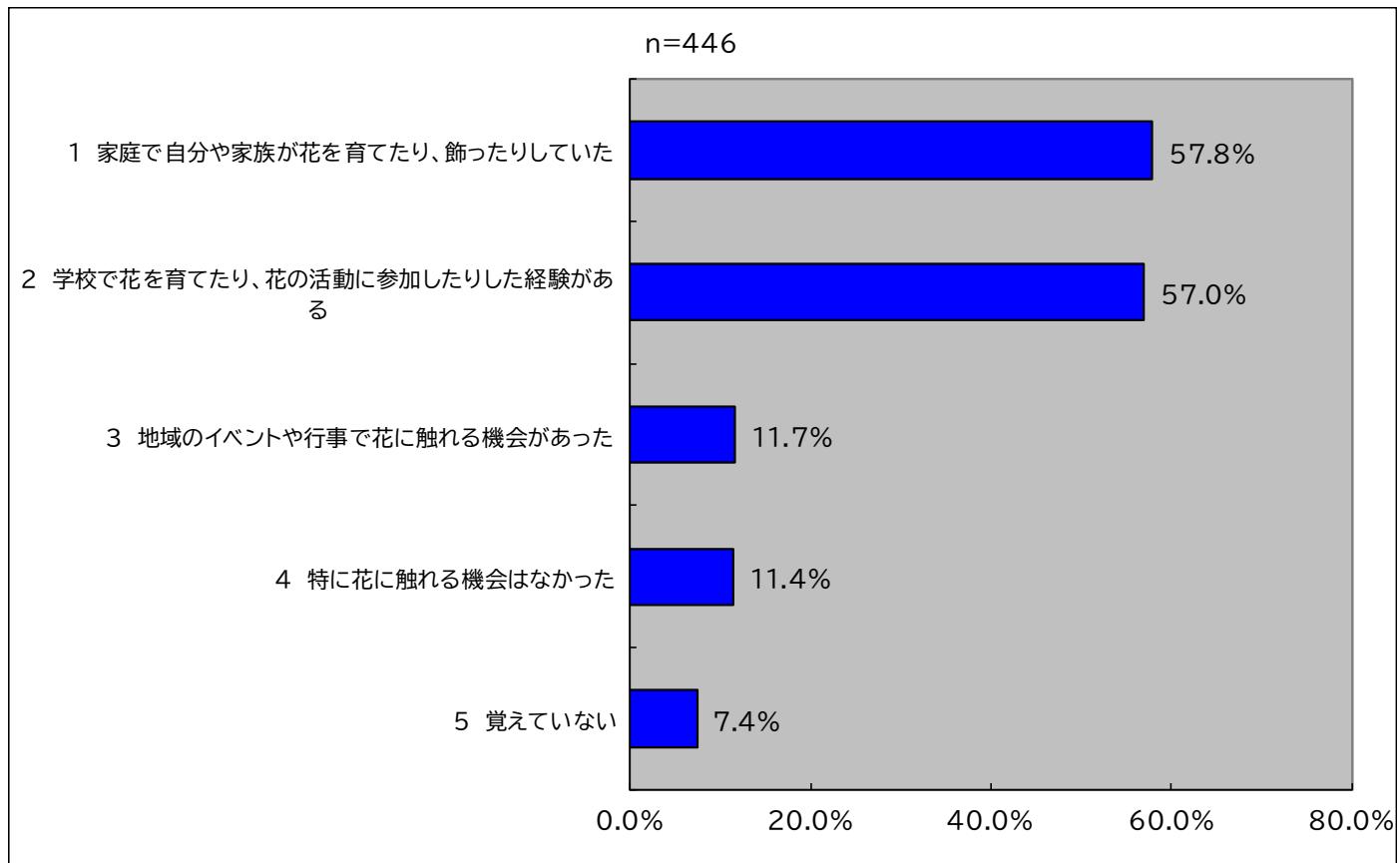
※花:切花、鉢物(鉢花、観葉植物、洋ラン等)、花苗、球根、花の種



問5 日常生活に花があることで、あなたの心にどのような変化があると考えますか。(複数回答可)



問6 あなたは、幼少期(小学校低学年頃まで)に花に触れる機会がありましたか。(複数回答可)



問7 静岡県では、日常の中で花や緑に親しんでもらうための取組を行いたいと考えています。普段から家や職場に花や緑を飾って楽しむ機会を増やすため、県としてどのような取組が効果的か、ご意見がありましたら、お寄せください(500文字以内)

担当課名 経済産業部農業局農産振興課

電話番号 054-221-2679

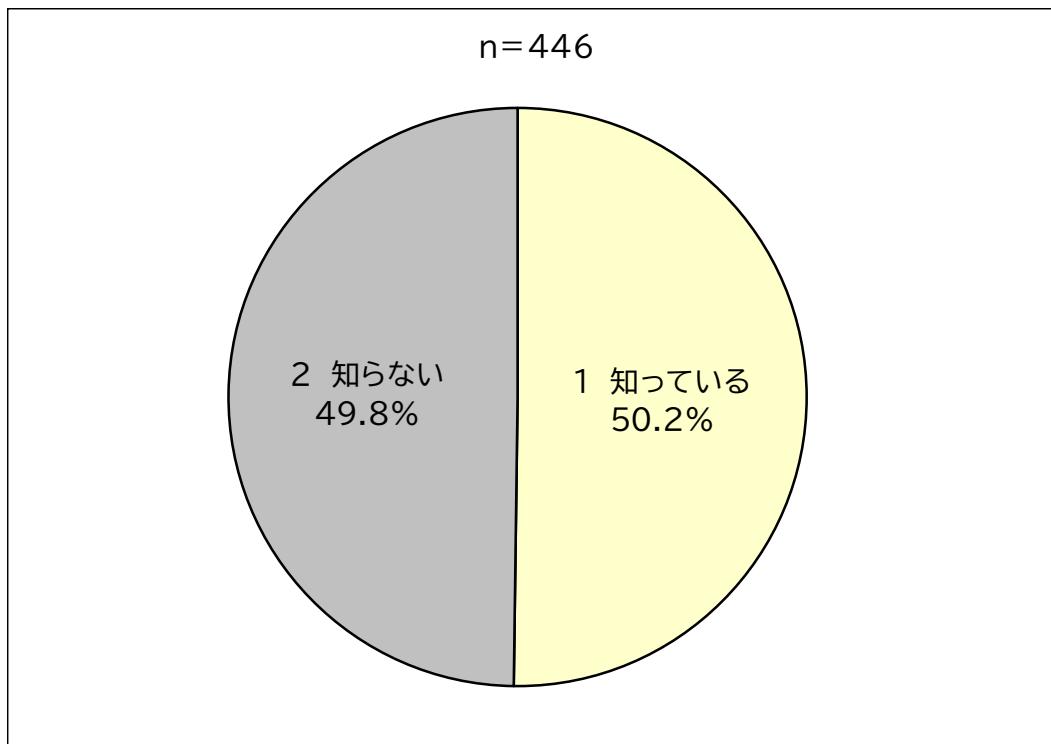
FAX 番号 054-221-1351

メールアドレス nousan@pref.shizuoka.lg.jp

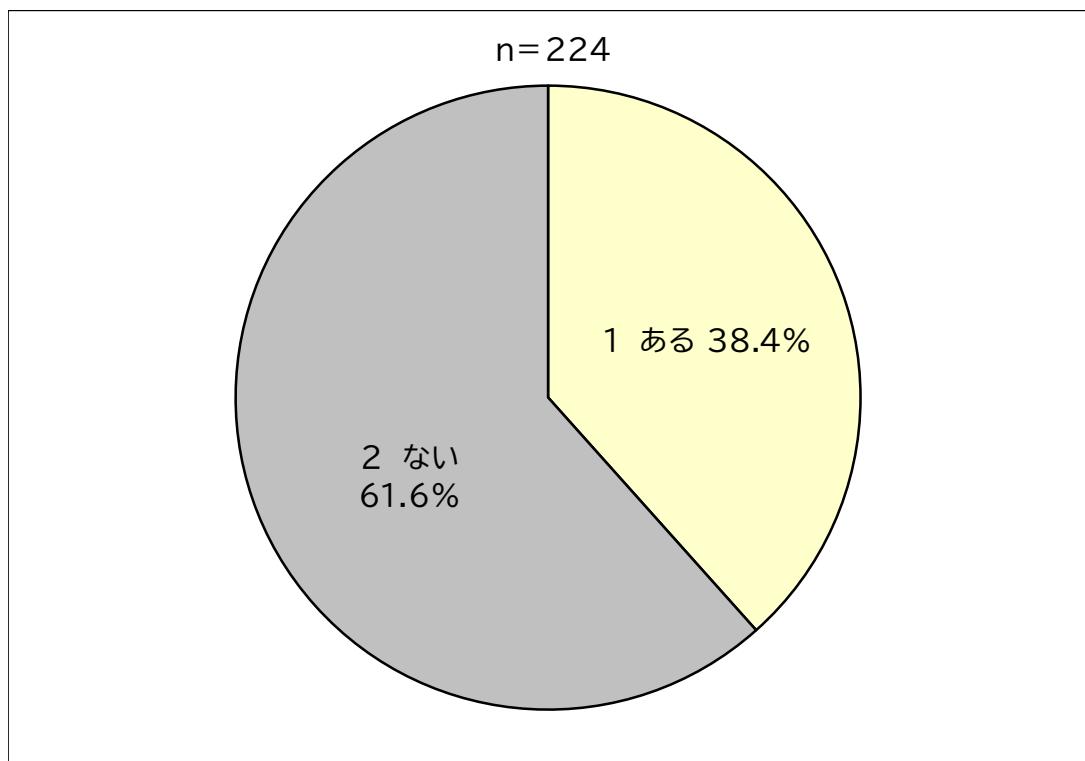
○救急医療に関するアンケート

静岡こども救急電話相談(#8000)について

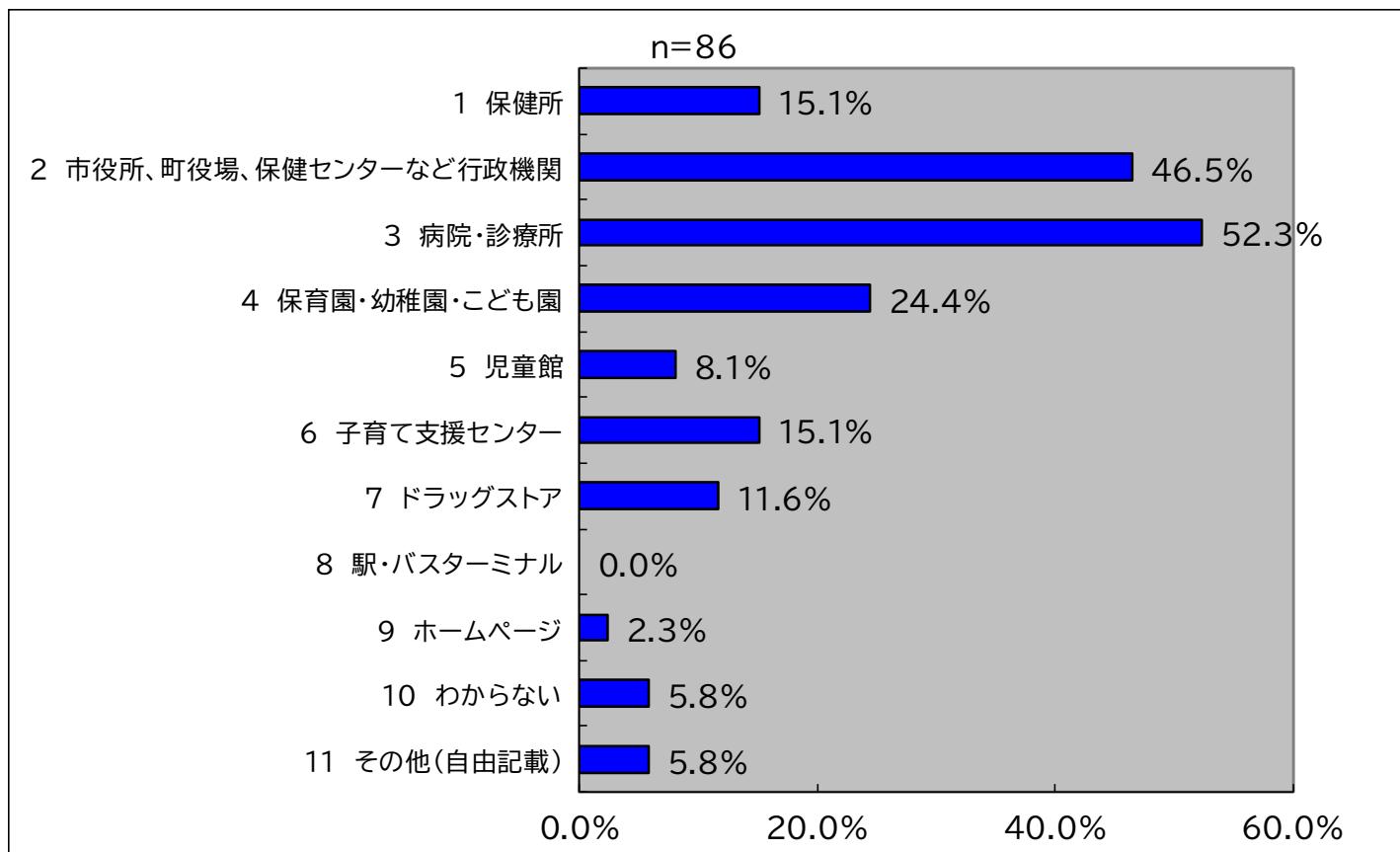
問1 静岡県には、お子様(中学生まで)が、急に具合が悪くなったとき、どのように対応したらよいか電話で相談できる「静岡こども救急電話相談(#8000)」がありますが、あなたは知っていますか。(回答数は1つ)



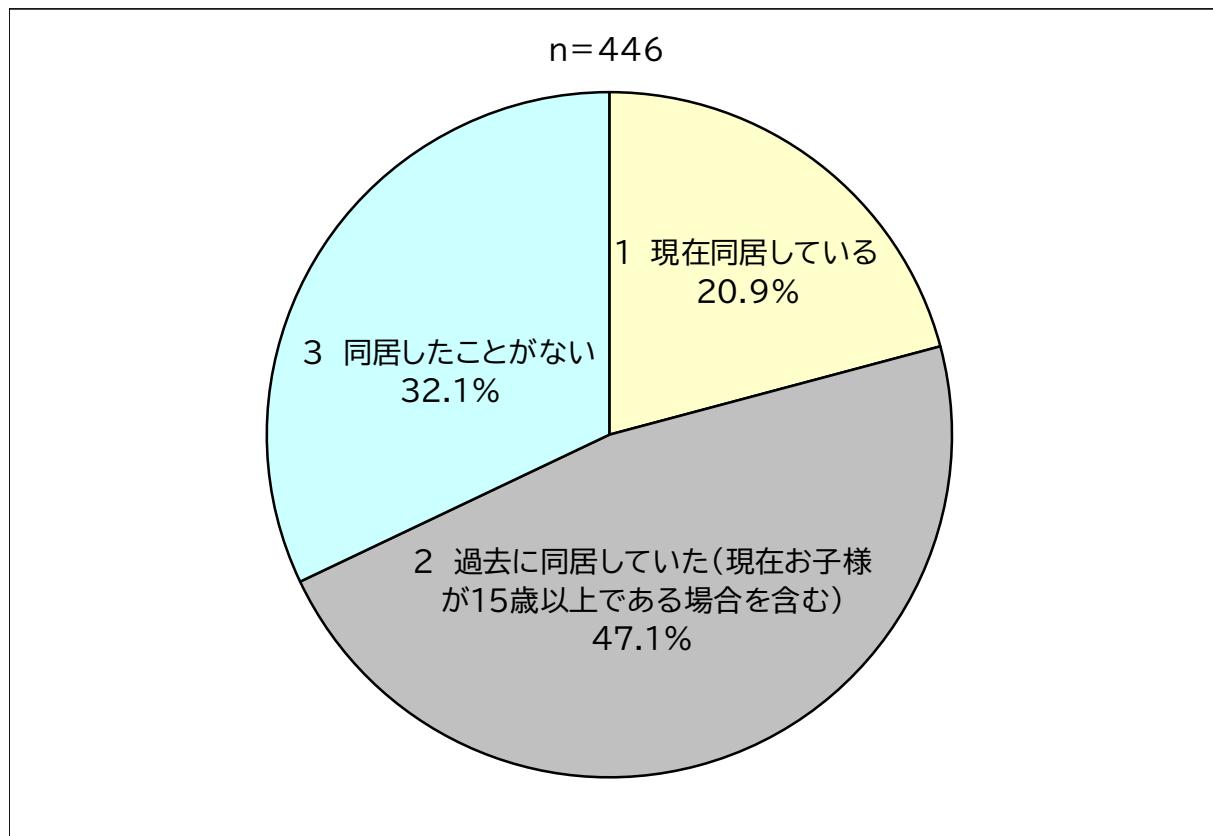
問1-2 問1で選択肢1を選択された方に伺います。県では、「それいけ！アンパンマン」を使用した「静岡こども救急電話相談(#8000)」のポスターやチラシなどを作成していますが、あなたはご覧になったことがありますか。(回答数は1つ)



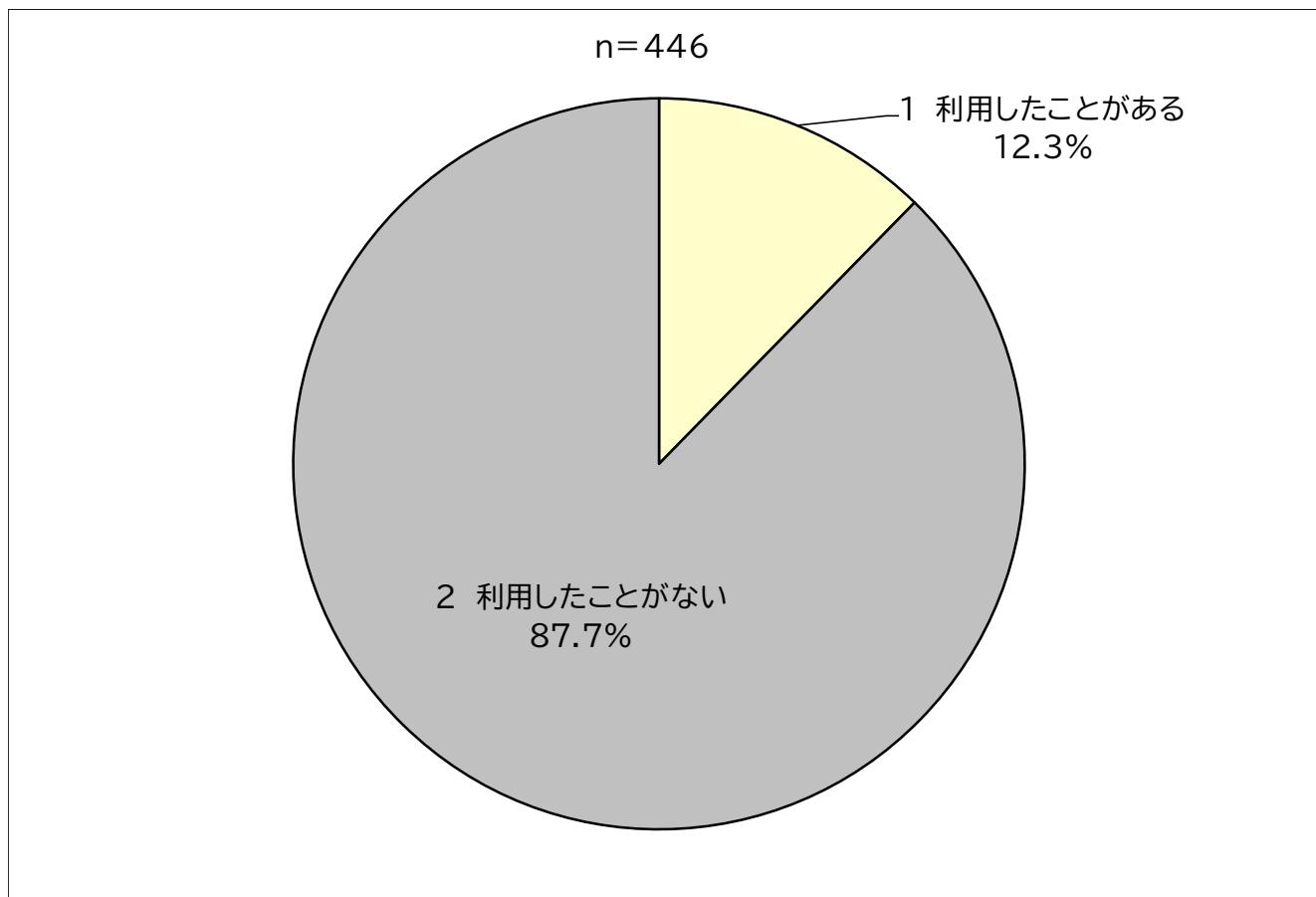
問1-2-2 問1-2で選択肢1を選択された方に伺います。あなたは、「それいけ！アンパンマン」を使用した「静岡こども救急電話相談(#8000)」のポスター・チラシをどこでご覧になりましたか。(複数回答可)



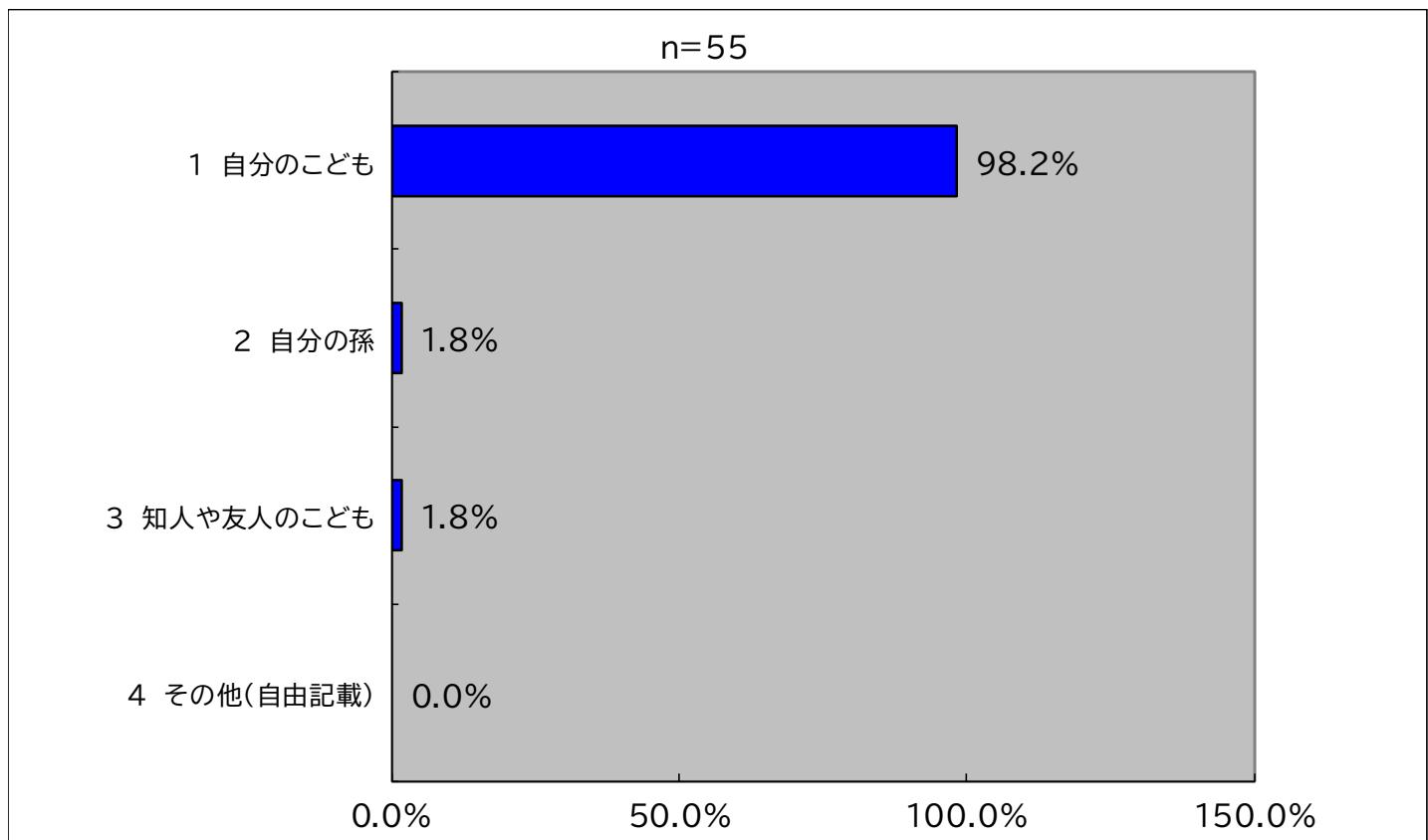
問2 「静岡こども救急電話相談(#8000)」はおおむね 15 歳未満のお子様の保護者が相談対象となります。あなたは、15 歳未満のお子様(自分の子ども又は孫)と同居したことがありますか。(回答は1つ)



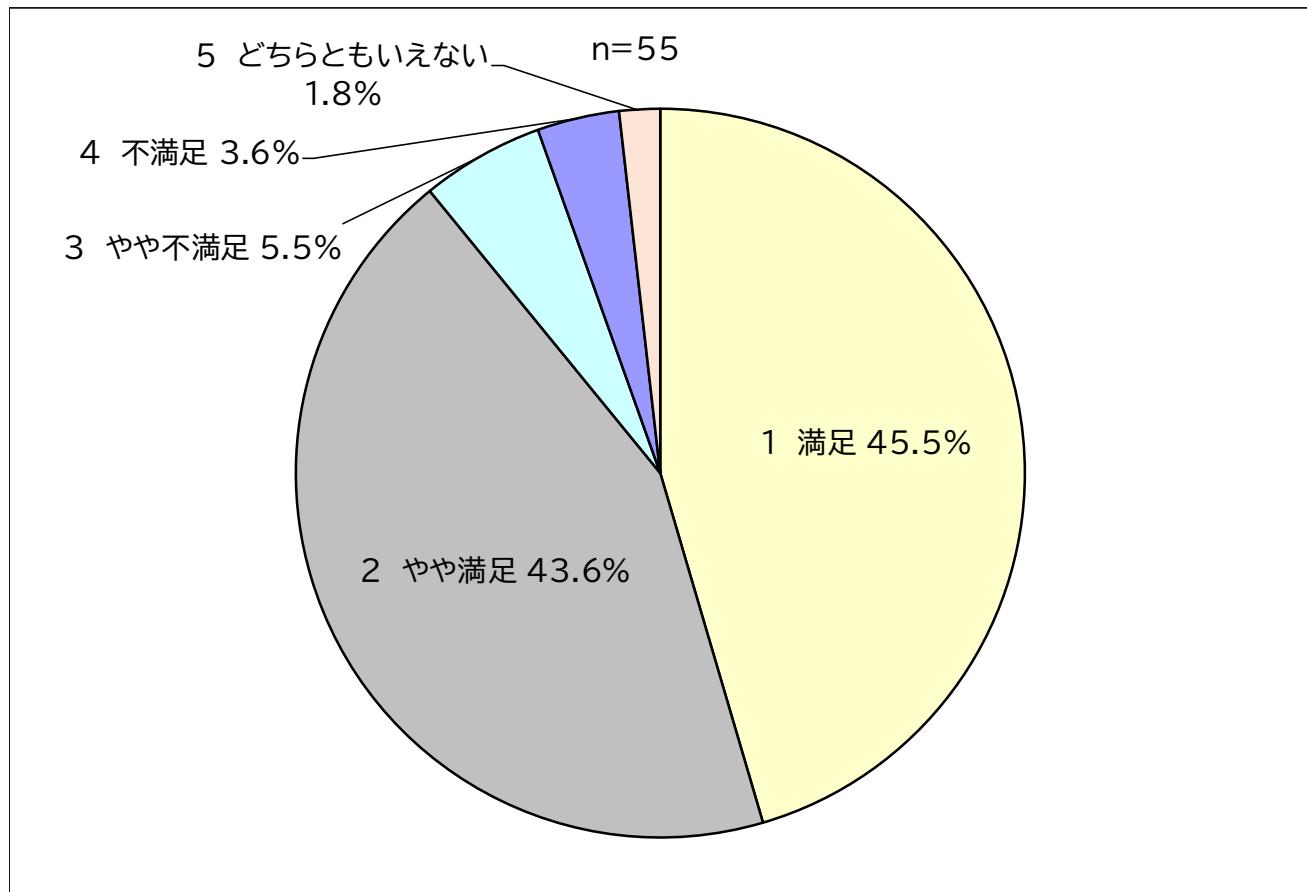
問3 あなたは、「静岡こども救急電話相談(#8000)」を利用したことがありますか。(回答数は1つ)



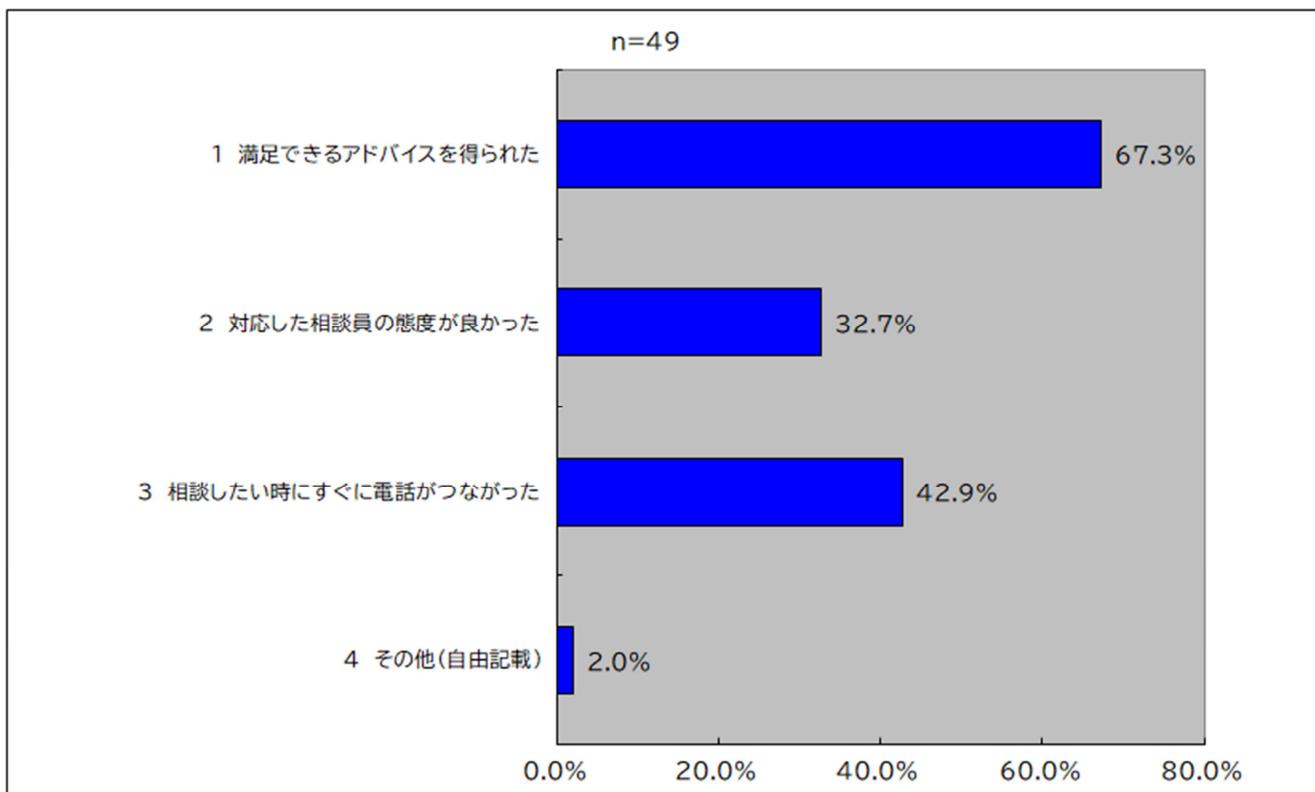
問3-2 問3で選択肢1を選択された方に伺います。どなたの具合が悪くなったときにご利用されましたか。(複数回答可)



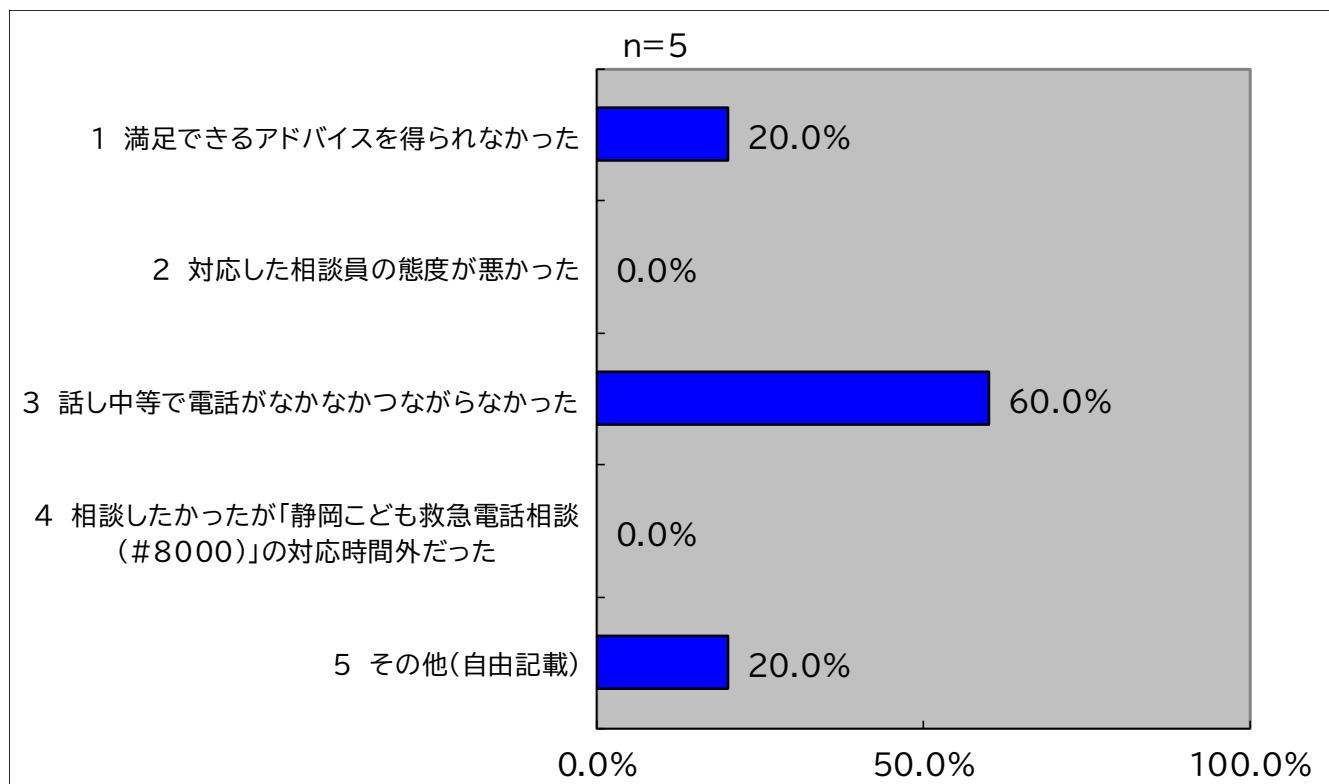
問3-3 問3で選択肢1を選択された方に伺います。「静岡こども救急電話相談(#8000)」の助言等には、ご満足いただけましたか。(回答数は1つ)



問3-3-2 問3-3で選択肢1または2を選択された方に伺います。「静岡こども救急電話相談(#8000)」のどのような点について満足だと感じましたか。(複数回答可)

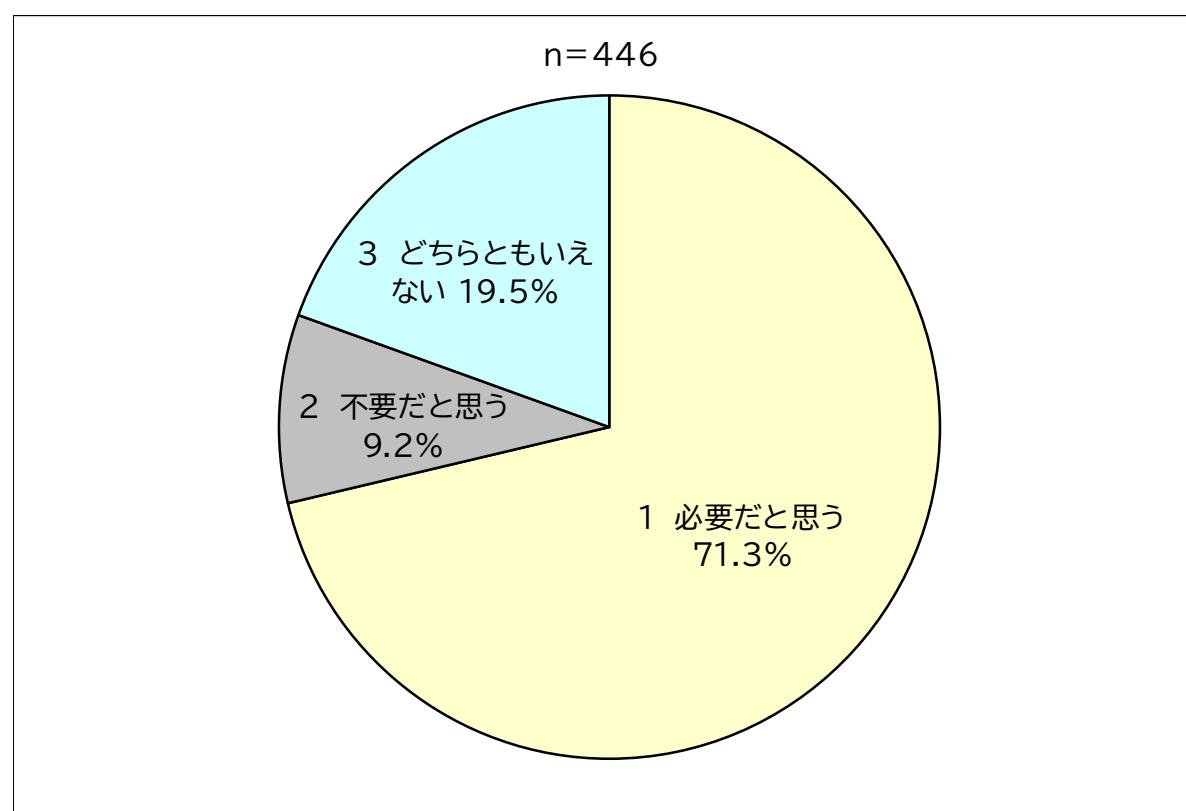


問3－3－3 問3－3で選択肢3または4を選択された方に伺います。「静岡こども救急電話相談(#8000)」のどのような点について不満足だと感じましたか。(複数回答可)

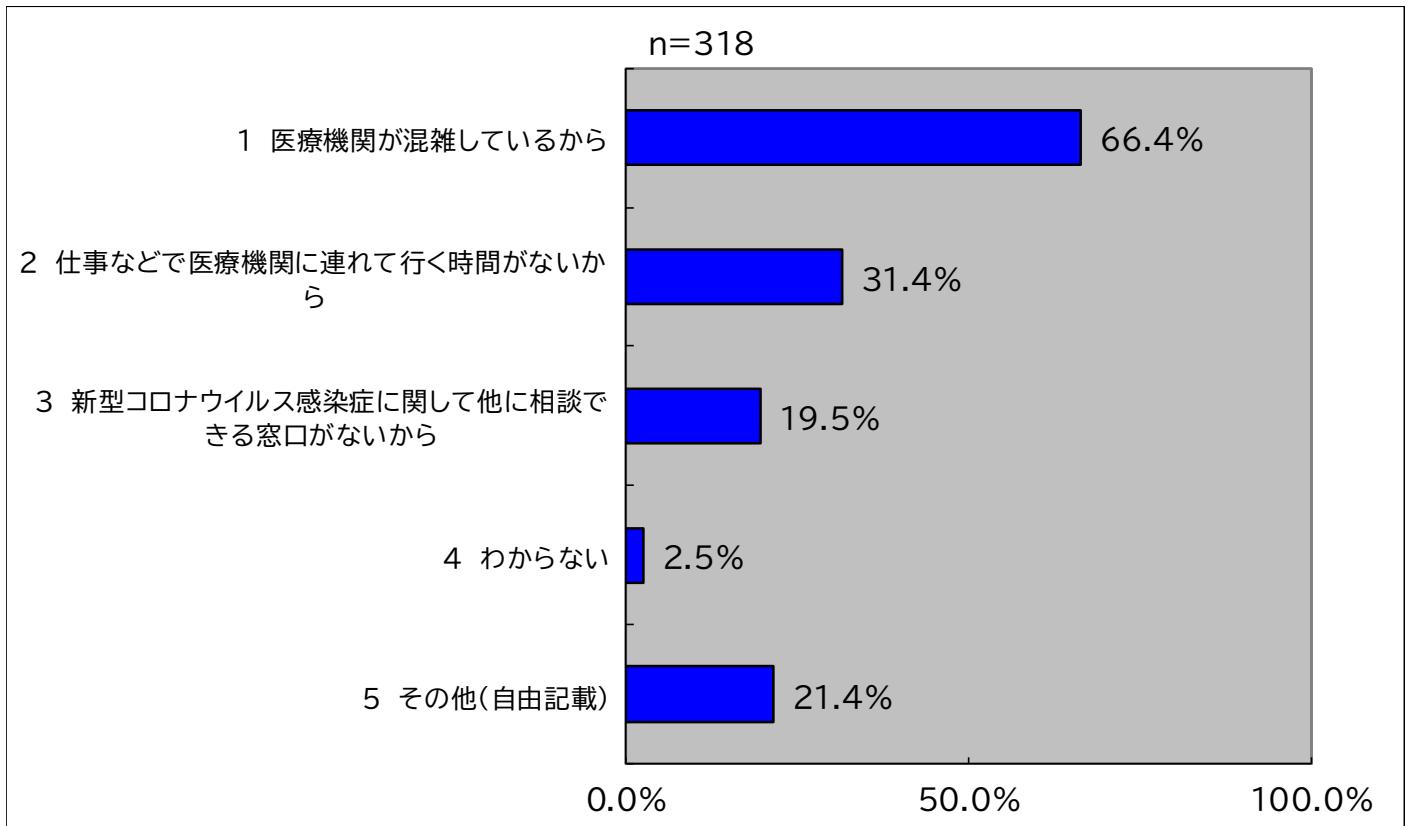


問4 「静岡こども救急電話相談(#8000)」の相談時間は、夜間・休日のみ(平日:18時～翌8時、土:13時～翌8時、日祝:8時～翌8時)でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大への対応のため、令和4年8月から、相談時間を、医療機関の診療時間内(平日:8時～18時、土:8時～13時)も含む毎日24時間に拡充し、今年度も24時間体制を継続しています。

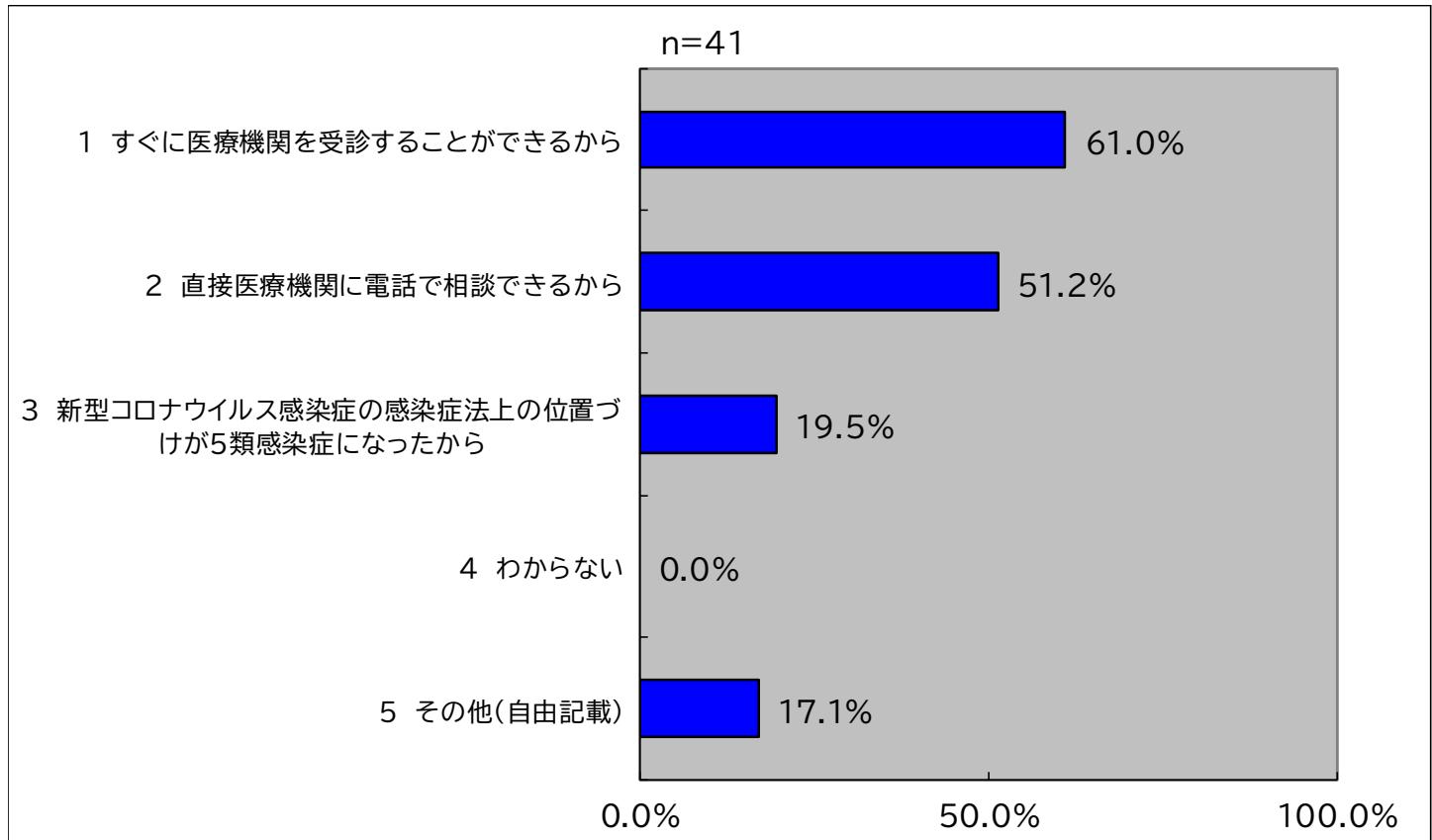
あなたは、今後も医療機関の診療時間内にも、「静岡こども救急電話相談(#8000)」を利用できる必要があると思いますか。(回答数は1つ)



問4－2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。必要だと思う理由を教えてください。(複数回答可)

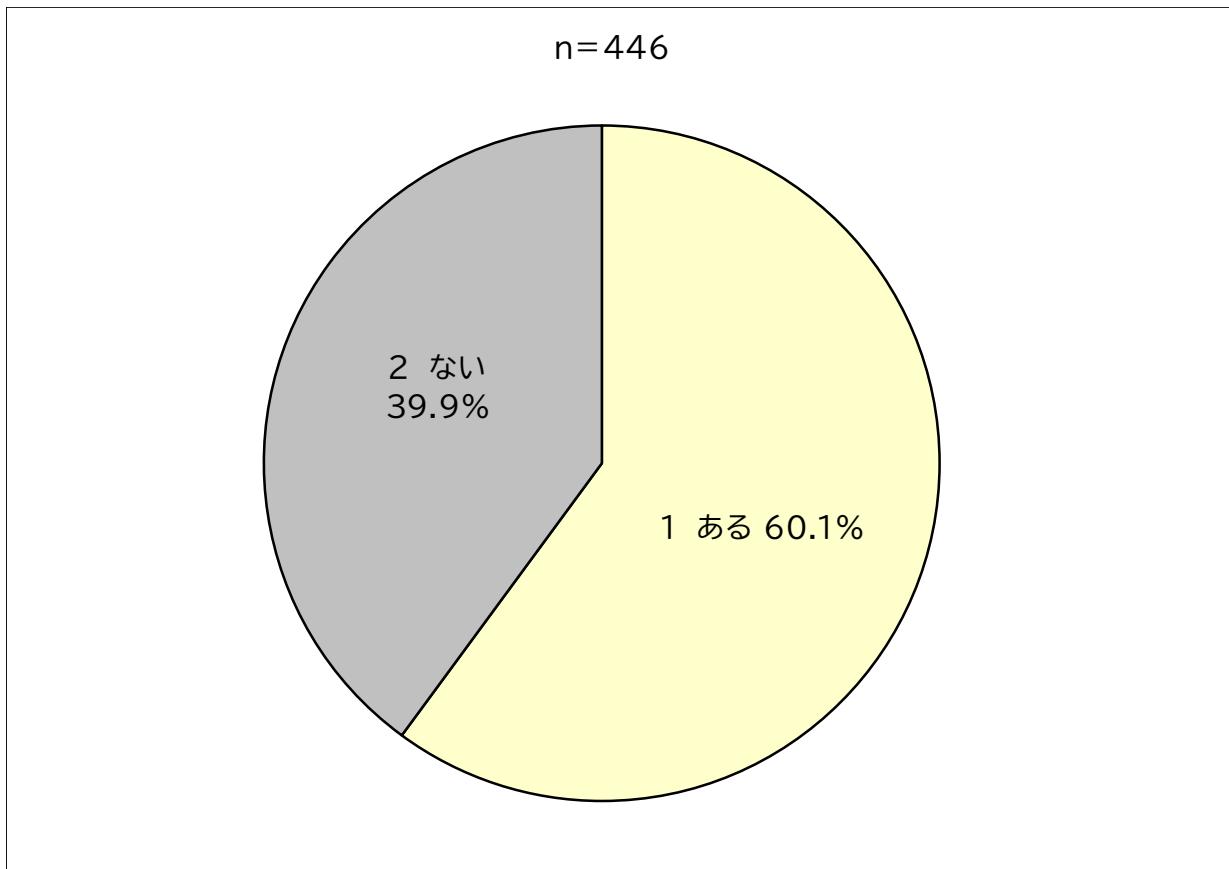


問4－3 問4で選択肢2を選択された方に伺います。不要だと思う理由を教えてください。(複数回答可)

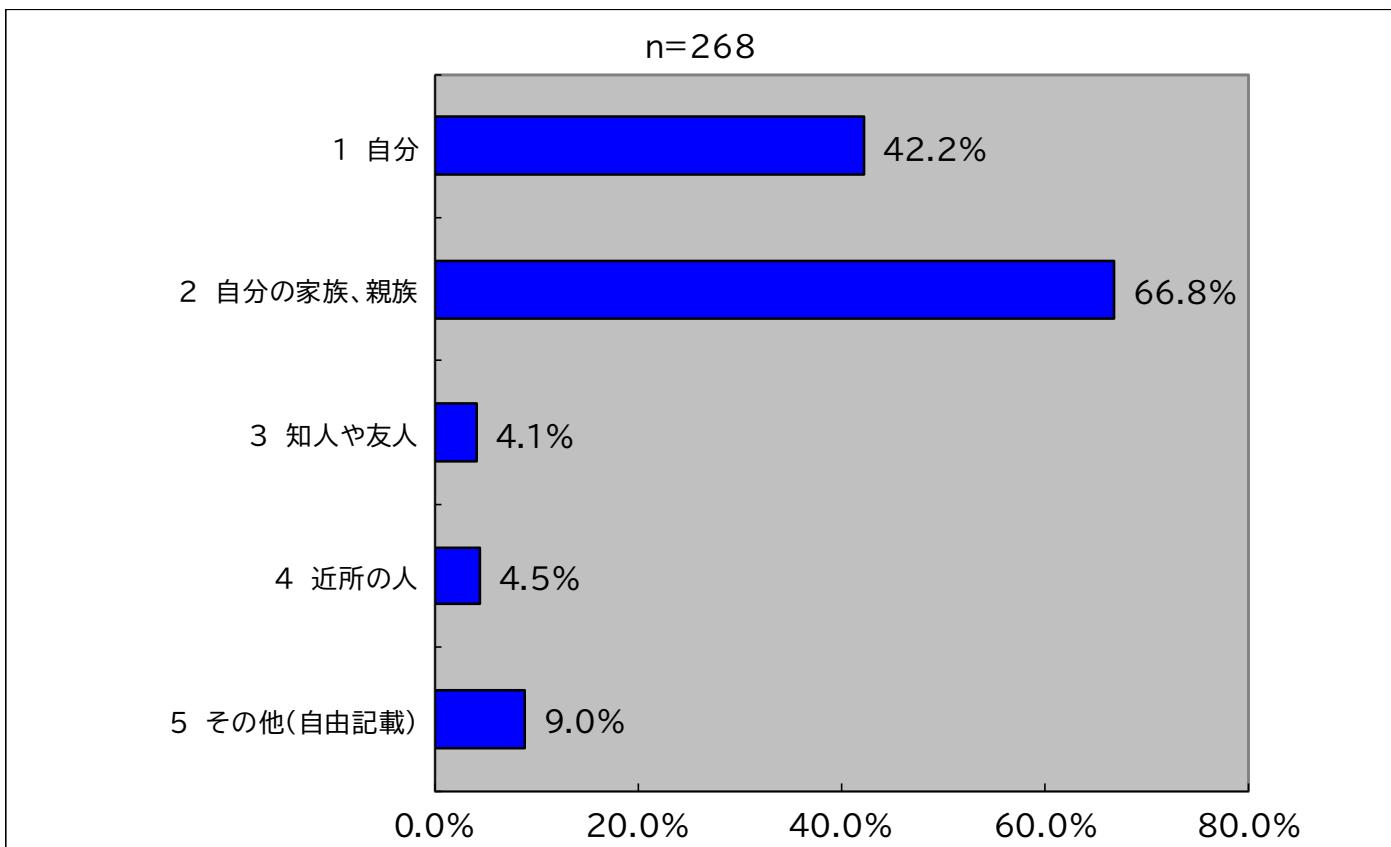


救急車の利用について

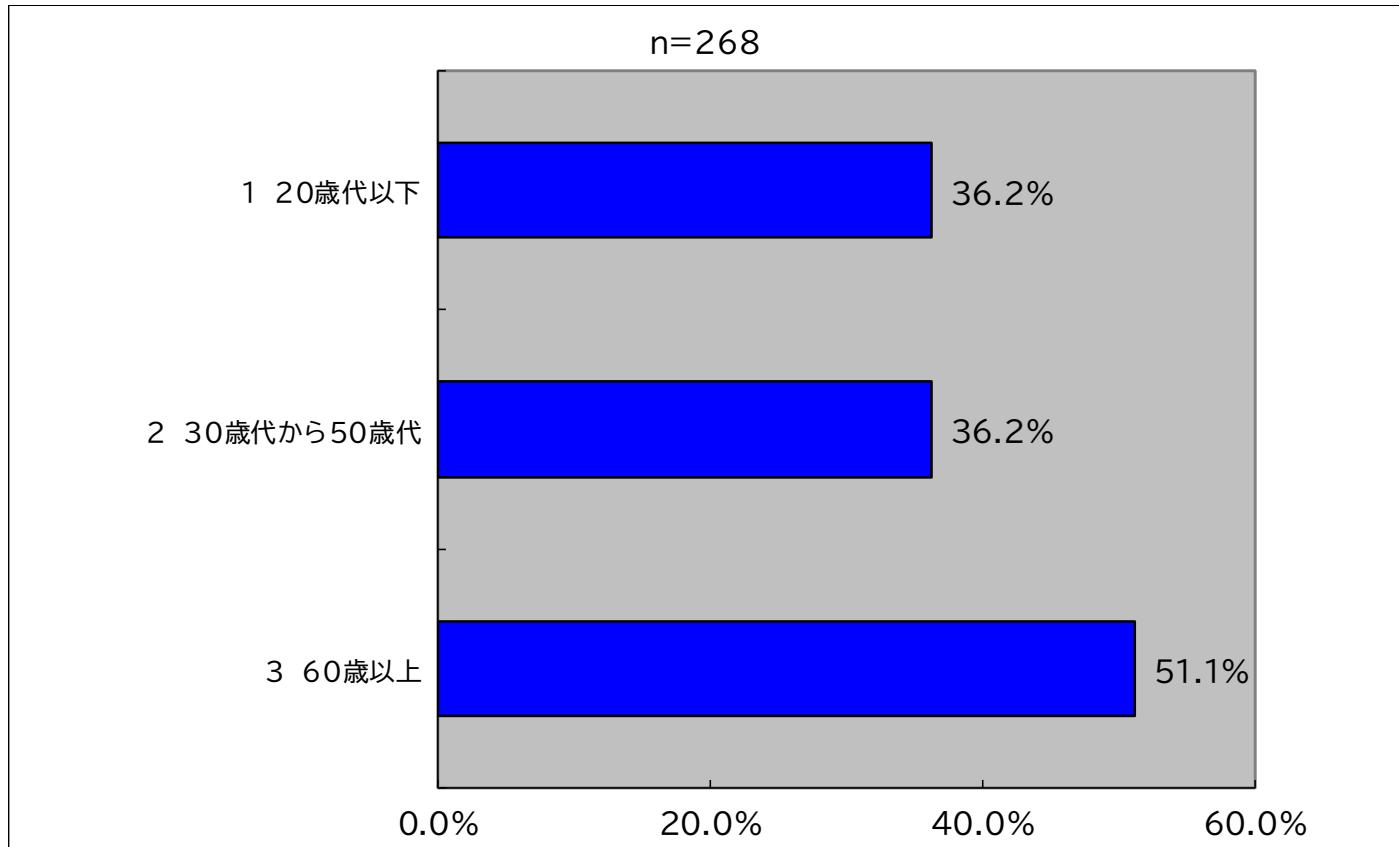
問5 あなたは、救急車を呼んだことや、呼んでもらったことはありますか。(回答数は1つ)



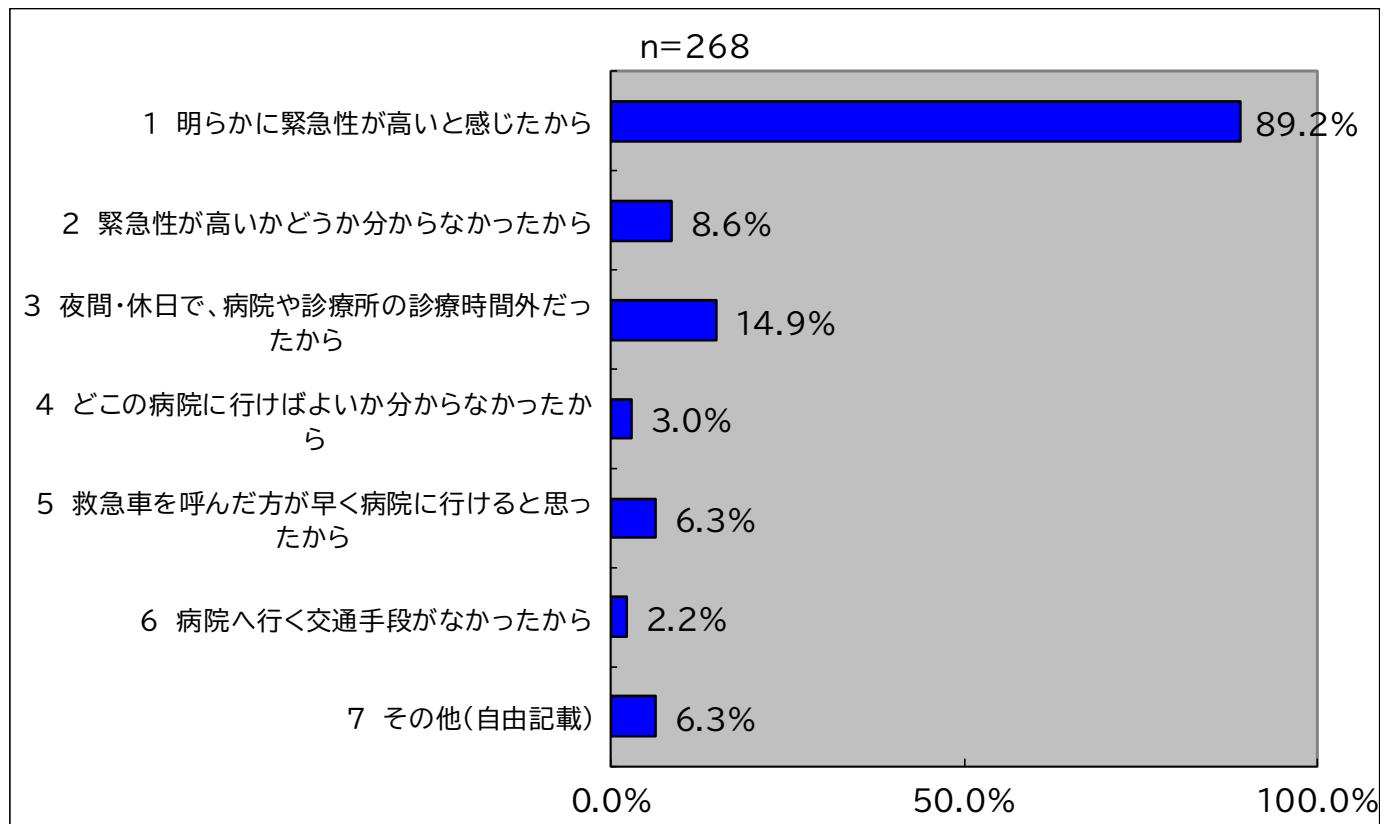
問5-2 問5で選択肢1を選択された方に伺います。どなたの具合が悪くなったときにご利用されましたか。(複数回答可)



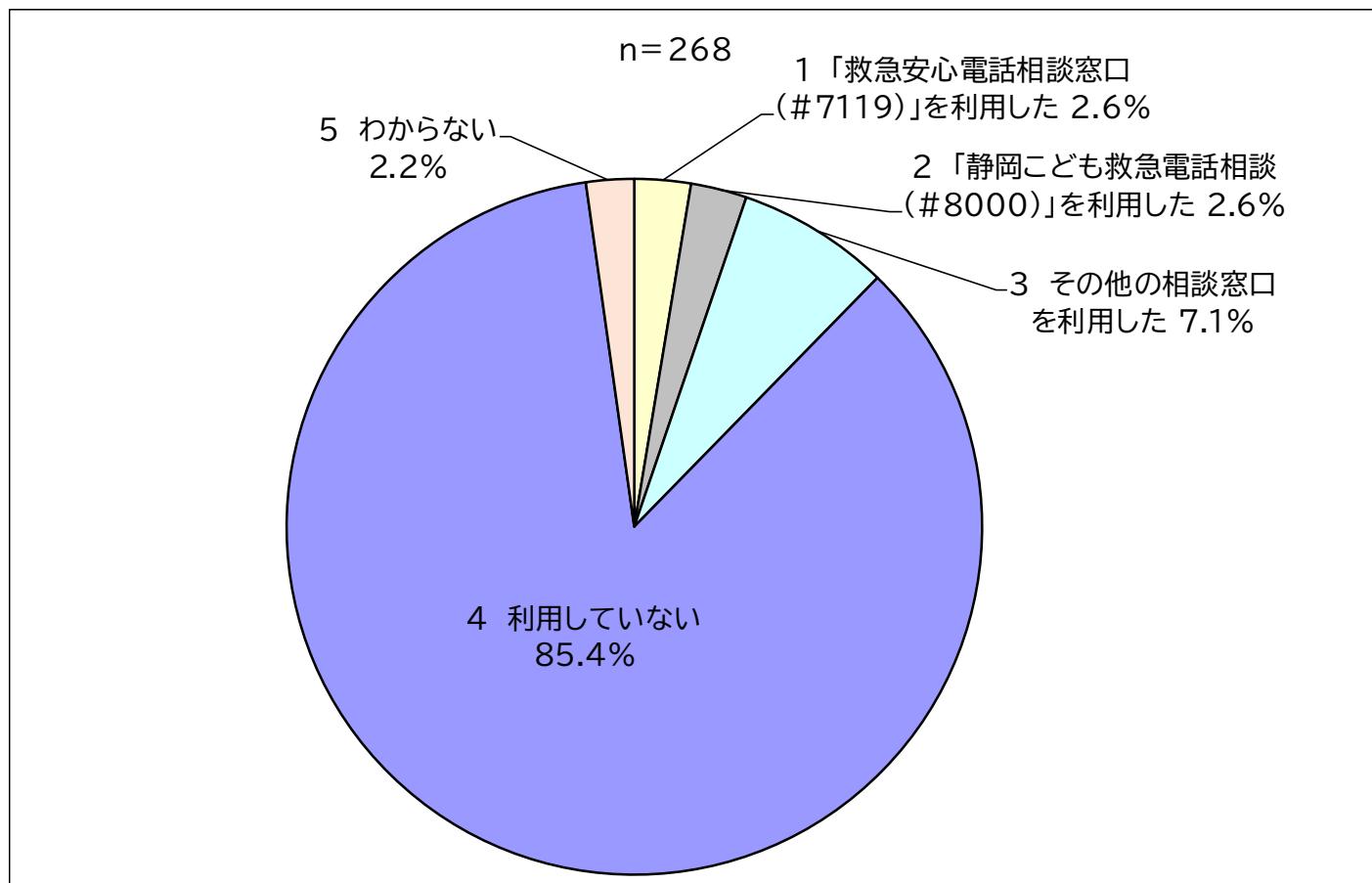
問5－3 問5で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を利用された方の年齢を教えてください。
(複数回答可)



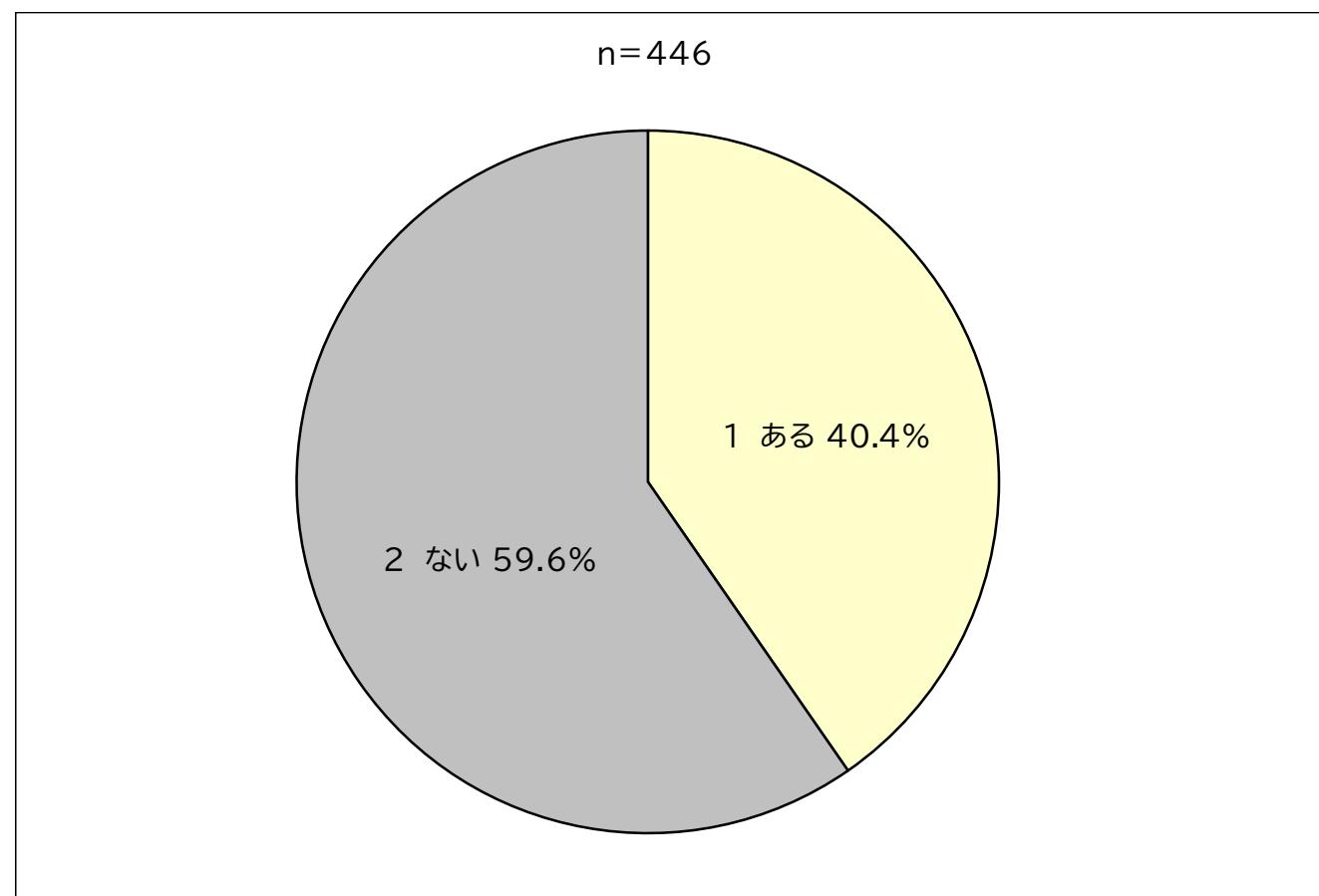
問5－4 問5で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼んだり、呼んでもらったりした理由は何ですか。(複数回答可)



問5－5 問5で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼んだり、呼んでもらったりする前に相談窓口を利用しましたか。(回答数は1つ)

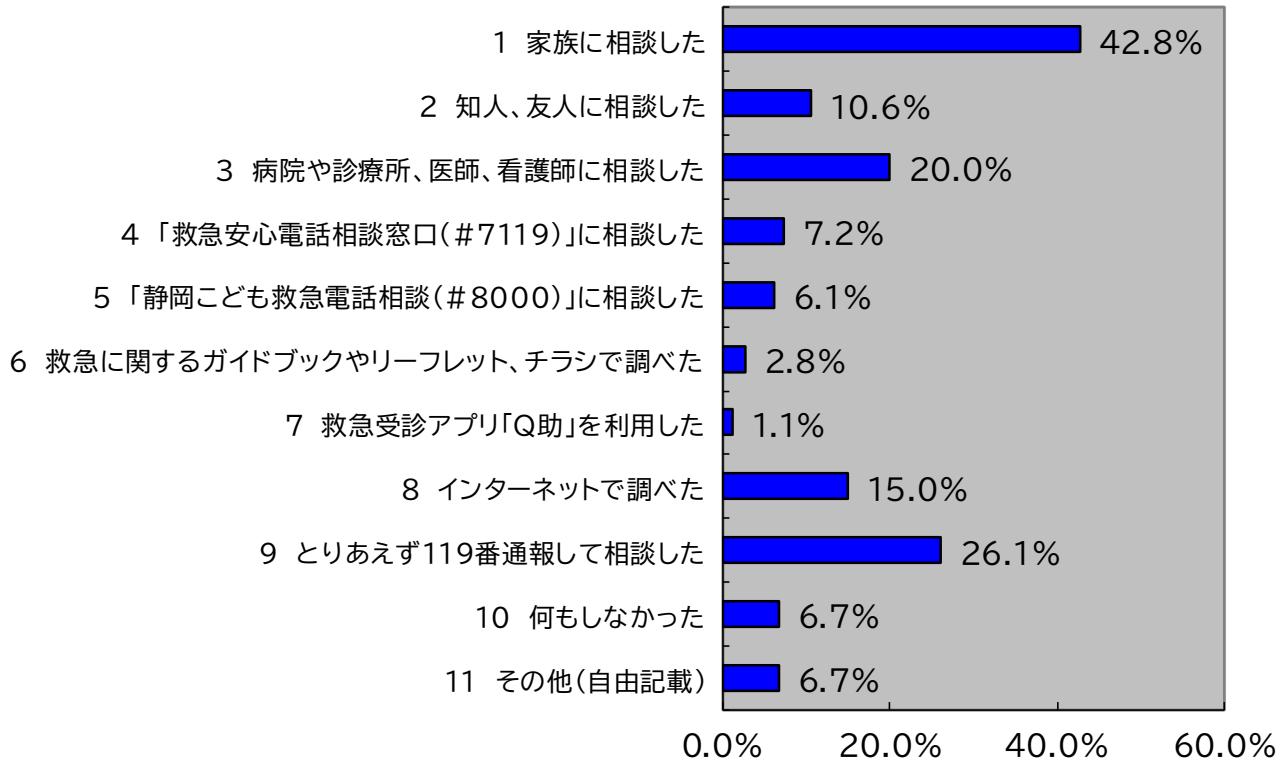


問6 あなたは、けがや病気で救急車を呼ぶべきかどうか判断に迷ったことはありますか。(回答数は1つ)



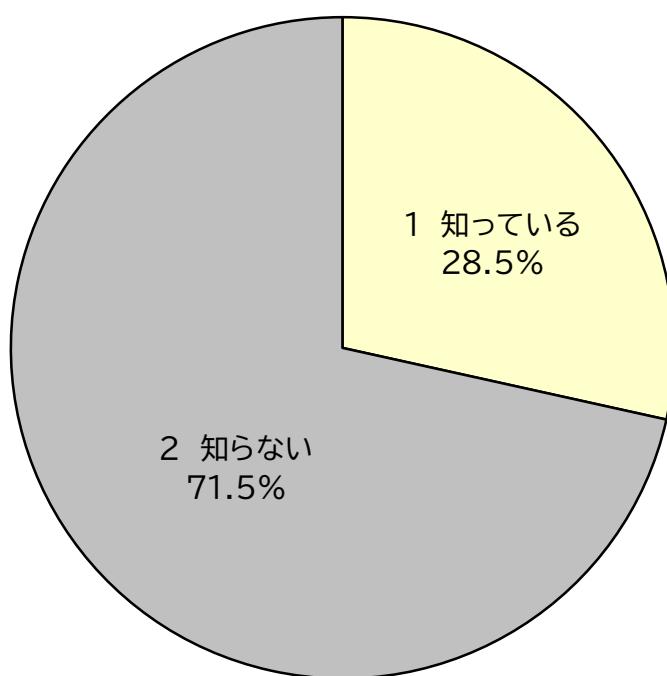
問6－2 問6で選択肢1を選択された方に伺います。救急車を呼ぶべきかどうか迷ったとき、あなたはどうしましたか。(複数回答可)

n=180

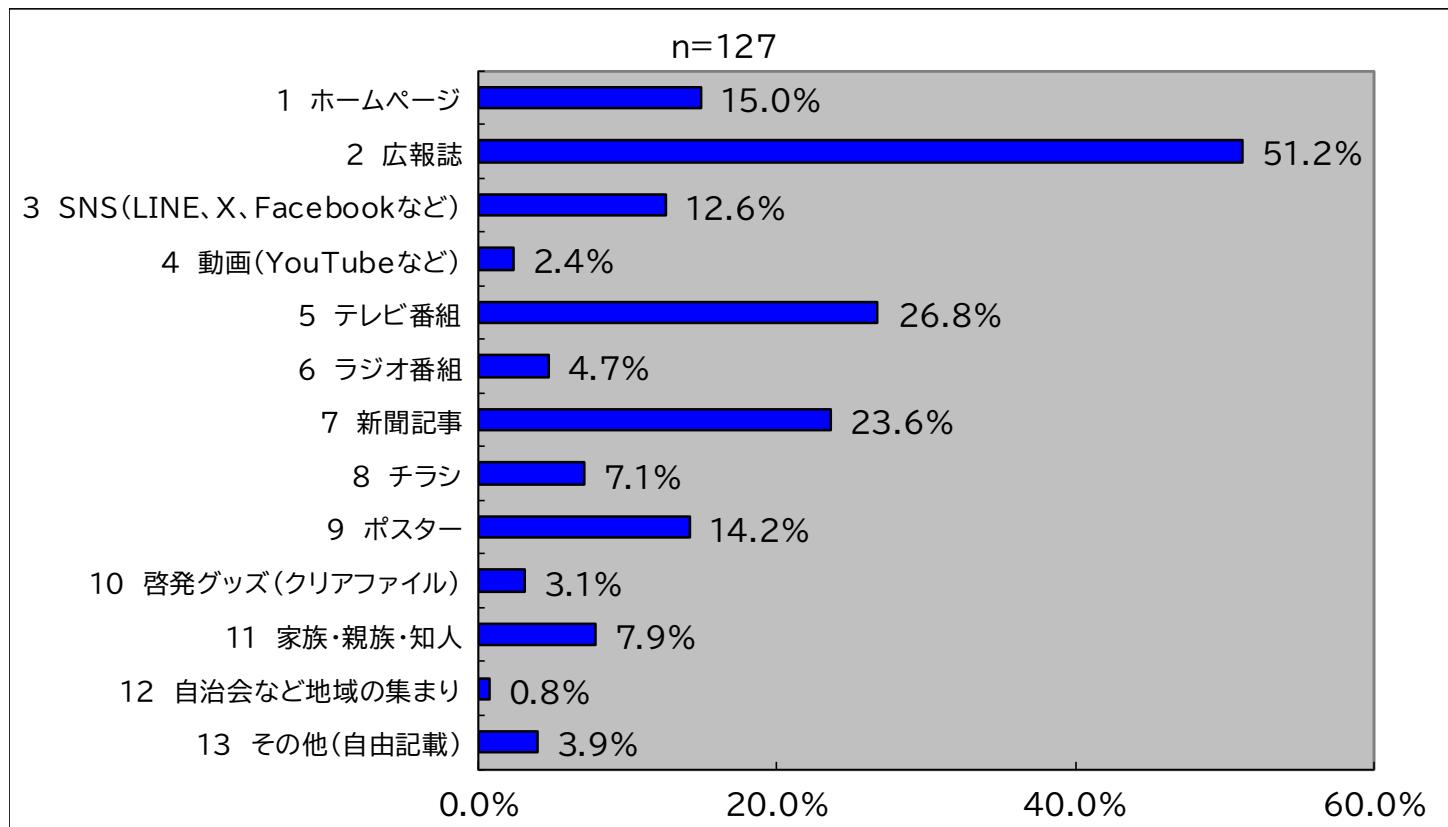


問7 静岡県では、おおむね15歳以上の方を対象に、急な病気やけがをした際、看護師等の相談員が医療機関の受診や救急車の利用に関する助言を行う「救急安心電話相談窓口(#7119)」を設置していますが、あなたは知っていますか。(回答数は1つ)

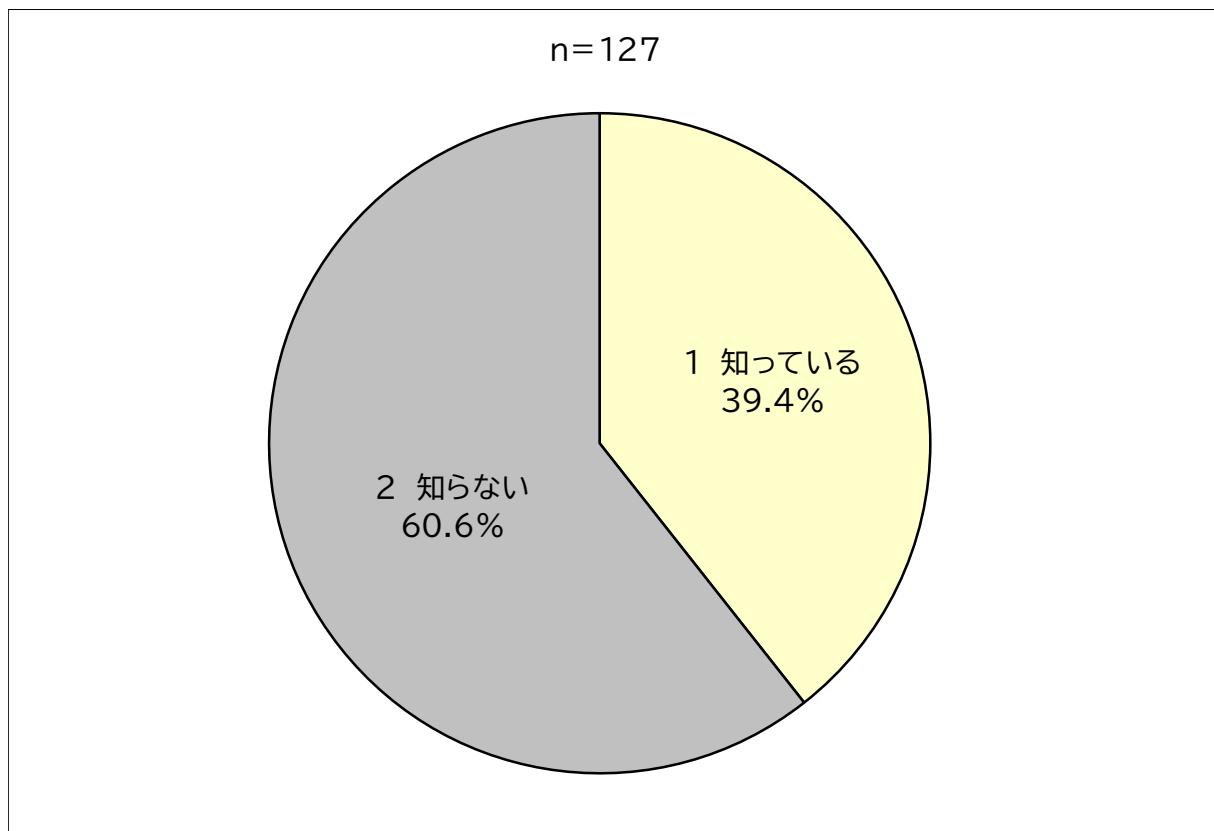
n=446



問7－2 問7で選択肢1を選択された方に伺います。「救急安心電話相談窓口（#7119）」について、あなたは何を通じて知りましたか。（複数回答可）



問7－3 問7で選択肢1を選択された方に伺います。静岡県では、今年の4月1日から「救急安心電話相談窓口（#7119）」の開設時間が24時間になりましたが、あなたは知っていますか。（回答数は1つ）



問8 救急医療に関するご意見やお気づきの点がありましたら、ご記入ください。(500字以内)

担当課名 静岡県健康福祉部医療局地域医療課

電話番号 054-221-2406

FAX 番号 054-251-7188

メールアドレス chiikiiryous@pref.shizuoka.lg.jp